

COYA CARRIER

コヤ キャリア 取扱説明書

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、必要なときにすぐ取り出せる場所に保管してください。

本製品を第三者に譲渡する場合は、取扱説明書も一緒に譲渡してください。

*本取扱説明書に記載されている説明用のイラストは、操作方法を分かりやすく示すために実際の製品の仕様と異なる箇所がある場合があります。

目次

お使いいただく前に

年齢・体重のめやす	4
安全上のご注意	6
各部の名称	12
同梱品を確認する	14

ご使用前の準備

お子さまの位置や姿勢の確認と調整	15
------------------	----

基本的な使い方

ウエストベルトを装着する	23
レッグループを使う	26
ショルダーストラップを装着する	27
ベースシート幅とヒップポジションを調節する	30
フード&ネックサポートを使う	32

各抱き方の装着方法

対面抱き(パラレル装着)	36
対面抱き(クロス装着)	50
前向き抱き(パラレル装着)	64
前向き抱き(クロス装着)	78
おんぶ(パラレル装着)	92

その他の使い方

収納バックを使う	111
----------	-----

点検とお手入れ

点検について	114
・ 日々の点検	
お手入れ方法	115
保管する/廃棄する	116

アフターサービス

お問い合わせ	117
保証規定	117
ユーザー登録のお願い	118
保証書	119
SGマーク制度について	120












年齢・体重のめやす

警告

使用条件に関する注意事項

- 本取扱説明書に記載された使用方法を守ってご使用ください。
- 各抱き方のお子さまの使用条件(発達・体重)を必ず守って使用してください。
お子さまの落下や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品を3.2kg未満のお子さま、または15kg以上のお子さまに使用しないでください。
窒息や落下のおそれがあります。
- お子さまの首がすわるまでは、フード&ネックサポートでお子さまの首をしっかり支えて使用してください。
お子さまが埋もれて体調を損なうおそれがあります。
- お子さまの腰がすわる(6ヶ月頃)までは、「前向き抱き」および「おんぶ」はしないでください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 早産児や呼吸器疾患等のあるお子さまは、生後1ヶ月でも使用をお控えください。また、ご使用前に先立って、医師にご相談ください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、一般家庭でお子さまを乗せて移動するための1人用のベビーキャリアです。長時間お子さまを寝かせる、荷物を運搬するなど、他の目的での使用はしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 本製品は体重3.2kg以上15kgまでのお子さまに使用する1人用ベビーキャリア(抱っこ紐)です。
- 異なる3種類の抱き方(対面抱き、前向き抱き、おんぶ)でご使用になれます。
- ご使用前に、P.5の図を参考にしてそれぞれの抱き方に推奨されるお子さまの月齢と発達段階を必ず確認してください。

	対面抱き	前向き抱き	おんぶ
<p>生後0ヶ月(3.2kg以上)～ 腰がすわった6ヶ月頃</p> 	<p>▶ P.36 ▶ P.50</p>   <p>バラレル装着 クロス装着</p>		
<p>腰がすわった生後6ヶ月～ 36ヶ月頃(15kg)まで</p> 	<p>▶ P.36 ▶ P.50</p>   <p>バラレル装着 クロス装着</p>	<p>▶ P.64 ▶ P.78</p>   <p>バラレル装着 クロス装着¹⁾</p>	<p>▶ P.92</p>  <p>バラレル装着</p>

本製品のSGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。

対面抱き：生後1ヶ月から生後24ヶ月(体重13kg)まで。前向き抱き：生後6ヶ月から生後24ヶ月(体重13kg)まで。

おんぶ：生後6ヶ月から生後36ヶ月(体重15kg)まで。

安全上のご注意

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を、危険の大きさの程度に応じて、次のように分類して表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

誤った取り扱いをすると

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

誤った取り扱いをすると

「軽傷を負うおそれがある内容」です。



警告

使用条件に関する注意事項

- 本取扱説明書に記載された使用方法を守ってご使用ください。
- 各抱き方のお子さまの使用条件（発達・体重）を必ず守って使用してください。
お子さまの落下や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品を 3.2kg 未満のお子さま、または 15kg 以上のお子さまに使用しないでください。
窒息や落下のおそれがあります。
- お子さまの首がすわるまでは、フード＆ネックサポートでお子さまの首をしっかりと支えて使用してください。
お子さまが埋もれて体調を損なうおそれがあります。
- お子さまの腰がすわる（6ヶ月頃）までは、「前向き抱き」および「おんぶ」はしないでください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 早産児や呼吸器疾患等のあるお子さまは、生後1ヶ月でも使用をお控えください。また、ご使用に先立って、医師にご相談ください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、一般家庭でお子さまを乗せて移動するための1人用のベビーキャリアです。長時間お子さまを寝かせる、荷物を運搬するなど、他の目的での使用はしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

使用前の注意事項

- お子さまを乗せる前に、取扱説明書に沿って、本製品を正しく装着できることを、確認してください。
- 使用者やお子さまの身体の動きによって、使用者のバランスがくずれ転倒するおそれがあります。
- 許可されていないアクセサリを取り付けて使用しないでください。
- しゃがむ時や、前後左右に体重をかける際は、十分にお気をつけください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- ご使用の前に、バックルや、ショルダーストラップ、ウエストベルトなど、各パーツの動作、状態に異常がないことを確認してください。

着脱時の注意事項

- 着脱時には開口部からの落下の危険性が高まります。特に注意をしてください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 着脱は可能な限り低い姿勢や、安全な場所で行ってください。また、人にサポートしていただきながら行くと、より安全です。特に、おんぶの際は、注意してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまをしっかり支えながら、着脱を行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずベースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスが
できる高さにウエストベルトを調節してください。
- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ずレッグループを使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ず胸ストラップをスライダーで一番下まで下げてから装着してください。

**警告****使用時の注意事項**

- 生後4ヶ月未満、または首が完全に座っていないお子さまは、決して使用者の身体に顔を強く押し当てないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態でショルダーストラップの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 使用者とお子さまの腹部の間に、手のひら1枚分(首がすわったらこぶし1個分)の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの顎の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが前のめりにならないように、ベースシートで背中を十分に支えてください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- フードを使用する時は、お子さまの口の周りに被らないように注意してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きでは、フードを使用しないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きは、お子さまが起きている状態でのみ使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが落下するおそれがありますので、取扱説明書に記載された使用方法を守って使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 身体を傾ける際は、腰ではなく、膝を曲げ、使用者の頭が下がらないように注意し、必ずお子さまを手で支えてください。大きく前屈みの姿勢はとらないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずウエストベルト、ショルダーストラップ、胸ストラップを正しく調整して使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 体重15kgを超えるお子さまに使用しないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 使用中には走ったり、身体を大きく動かしたりしないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまをのせたまま、抱き方の変更は行わないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまを支えるために、両手が塞がった状態で使用しないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。

警告

- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように、奥に押し込みお子さまの手指が入らないよう注意してください。
- お子さまが眠っている場合は、フード&ネックサポートを使用して、お子さまの頭部を支えてください。
- ご不明な点は、助産師あるいはベビーキャリアの専門家にご相談ください。
- 熱源や高温の飲み物のしぶきなど、家庭環境での危険要因にご注意ください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 授乳後30分は、使用しないでください。授乳後は必ずベビーキャリアをはずしてください。
お子さまのおなかを圧迫し、消化吸収を妨げるおそれがあります。
- ご使用中はお子さまの状態に注意し、異常が見られた場合は、直ちに使用を中止してください。
- 前向き抱き、対面抱きの時は足元が見えにくい場合がありますので歩行には注意をしてください。
転倒し使用者及びお子さまが怪我をするおそれがあります。
- 運動やレジャーで使用しないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 自転車、バイク、車、飛行機、電動キックボードなど、乗り物での使用はしないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 掃除や料理など、家事を行う際には、お子さまの火傷や、使用者が前屈みの姿勢にならないよう、十分に注意してください。
お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用中に異常を感じたときや、日常点検で異常を発見した場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店までご相談ください。

 警告

メンテナンス・保管時の注意事項

- ご自身での改造や修理は決して行わないでください。修理に関するお問い合わせは、CTP JAPAN株式会社カスタマーセンターまでご連絡ください。
ご自身での改造や修理は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 直射日光やストーブの温風などに長時間さらさないでください。また、高温の車内などで長時間保管しないでください。
パーツなどが変形するなどし、本来の製品性能が失われるおそれがあります。
- ベビーキャリアの警告ラベルを切り取ったり、変更しないでください。
- お客様で定期的にメンテナンスを行ってください。

 **注意****使用時の注意事項**

- 2時間以上連続して使用しないでください。
- おんぶでのご使用中は、お子さまの様子が見えにくい場合がありますので、よりお子さまの様子に注意を払ってください。
- 使用者およびお子さまの体調がすぐれない時や、ご使用中に痛みなどを感じた時は直ちに使用を中止してください。
- バックルを留める時やはずす時は、爪を痛めないように注意してください。
- バックルを無理に留めたり、はずそうとしないでください。手指に怪我をしたり、バックルが破損するおそれがあります。

メンテナンス・保管時の注意事項

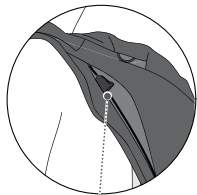
- 使用しない際も、バックルをつけた状態で保管ください。
- 本製品をお子さまの手の届く場所に放置・保管しないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーキャリアを、濡れた状態でたたんだり、保管しないでください。
色移りや、カビが発生すると、お子さまの健康に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 湿気の多い場所で保管しないでください。

その他の注意事項

- ベビーキャリアを洗うときは、他の洗濯物と一緒に洗わないでください。
他の洗濯物に色が移るおそれがあります。
- タンブラー乾燥機、アイロン、ドライクリーニング、洗濯機の使用はしないでください。詳細については製品にある洗濯ラベルを確認してください。
- 蛍光増白剤入りの洗剤を使用しないでください。
- 直射日光に当てて、干さないでください。
- 不要になった製品は、お住まいの各自自治体のきまりに従って、適切に廃棄してください。
- お気づきの点については、販売店または正規輸入代理店にご相談ください。

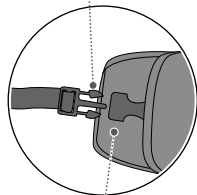
各部の名称

【ショルダーストラップ内側】



フード＆
ネックサポート用
スライダー
(左右2箇所)

ショルダーストラップ
バックル



トップショルダー
バックル(左右2箇所)

収納バック用ファスナー

フード＆ネックサポート

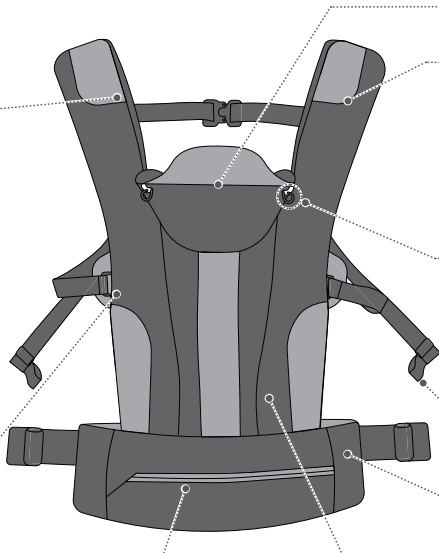
ショルダーストラップ

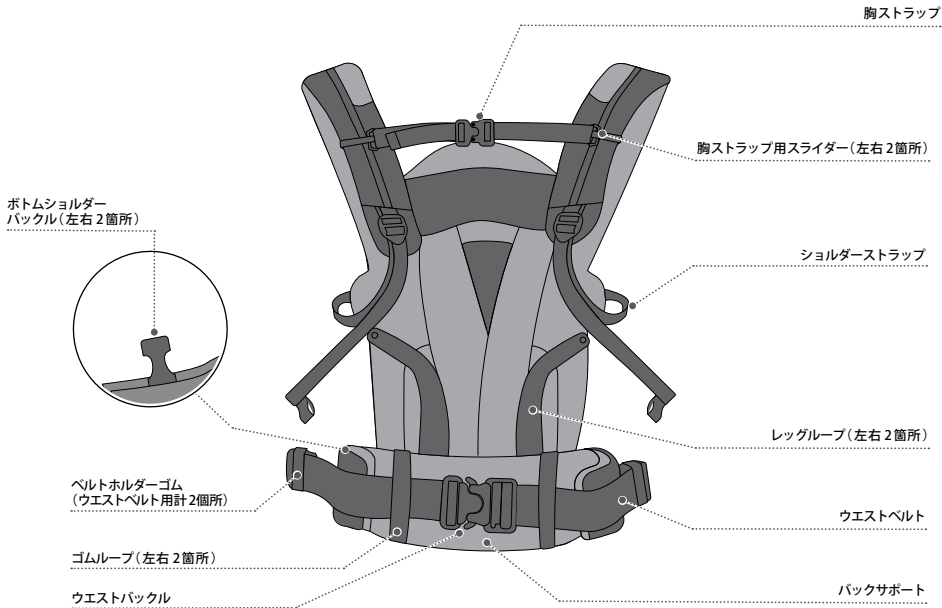
フード＆ネックサポート用ストラップ

ベルトホルダーゴム
(ショルダーストラップ用計4箇所)

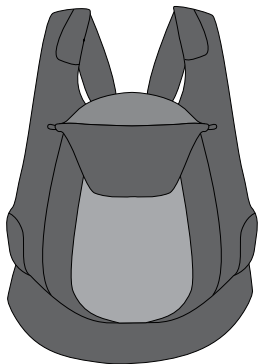
ウエストベルト

ベースシート





同梱品を確認する



本体



取扱説明書（本書）

お子さまの位置や姿勢の確認と調節

警告

着脱時の注意事項

- 必ずベースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスができる高さにウエストベルトを調節してください。

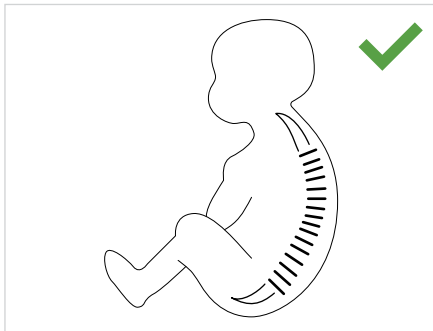
使用時の注意事項

- 生後4ヶ月未満、または首が完全に座っていないお子さまは、決して使用者の身体に顔を強く押し当てないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態にショルダーストラップの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 使用者とお子さまの腹部の間に、手のひら1枚分（首がすわったらくぶし1個分）の間隔を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの顎の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが前のめりにならないように、ベースシートで背中を十分に支えてください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。

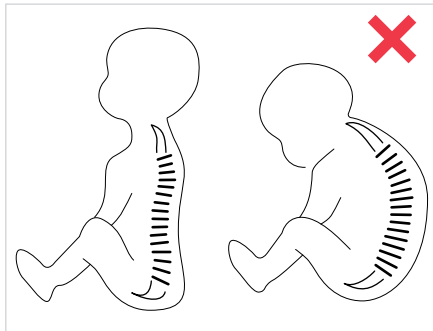
お子さまの正しい座り姿勢

- 下図を参考に、ベビーキャリアの中でお子さまの姿勢が正しく保たれるようお尻の位置を調節してください。
- お子さまの顎と胸がつく姿勢にならないよう、顎の下と胸の間に指2本分の間隔を確保してください。
- 密着しすぎること、お子さまの腕や脚を圧迫する場合があります。

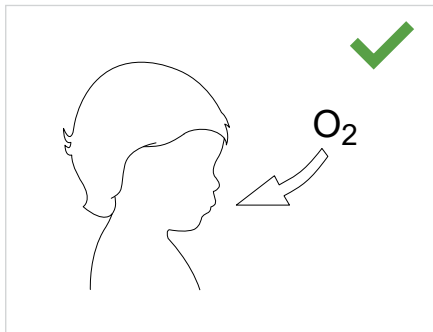
お子さまの腹部と使用者の間に手のひら一枚分（首がすわったらこぶし1個分）の間隔を確保してください。



- ✓ 背中が緩やかなC字型になっている。
- ✓ 顎と胸の間に適切な間隔を確保できている。



- ✗ 背中が真っ直ぐ伸びている
- ✗ 背中が丸まっている
- ✗ 顎と胸の間に間隔が確保できていない。



✓ 気道が確保できている

⇒ショルダーストラップの長さを調節する P.27 / お子さまのヒップポジションを調節する P.30

お子さまの正しい脚の形

- お子さまの股関節が開き、脚が自然な M 字型になるようベースシートの幅を調節します。
- お子さまの太ももから膝の裏までベースシートでしっかりと支えてください。

対面抱き



- ✓ 膝がお尻の位置よりも高く、脚が M 字型になっている



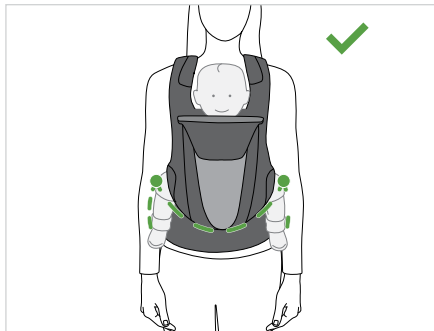
✕ 膝が伸びて曲がっていない。
(ベースシートの幅が広すぎる)



✕ 膝が下がっている。
(ベースシートの幅が狭すぎる)

⇒ベースシートを調節する P.30

前向き抱き



✓ 膝がお尻の位置よりも高く、脚が M 字型
になっている



× 膝が伸びて曲がない。
 (ベースシートの幅が広すぎる)

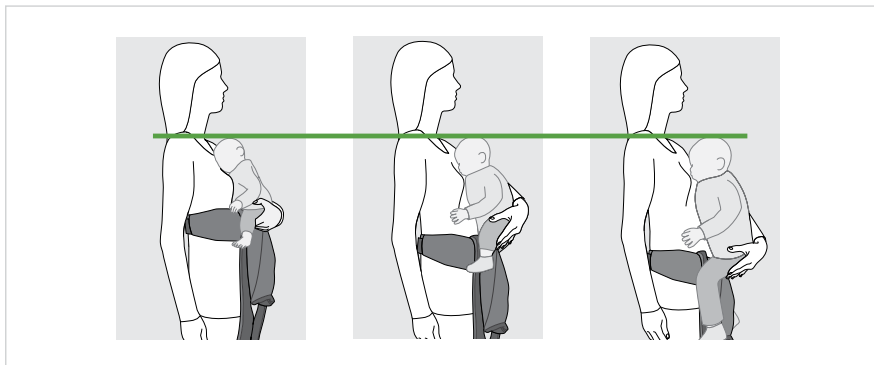


× 膝が下がっている。
 (ベースシートの幅が狭すぎる)

⇒ベースシートを調節する P.30

お子さまを抱く高さ

- お子さまのおでこにキスできる高さにウエストベルトを固定してください。
- 特に新生時期は、腰ではなく使用者のおへその上あたりでウエストベルトを固定してください。



ウエストベルトを装着する

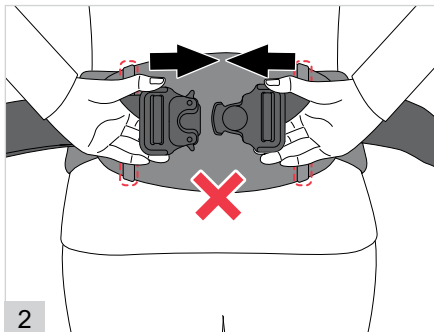
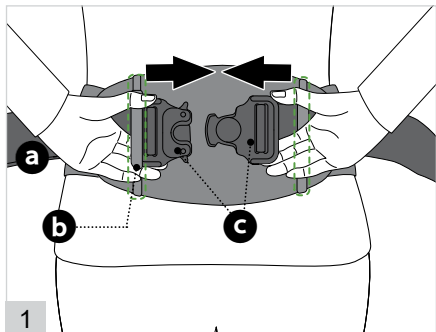
警告

使用前の注意事項

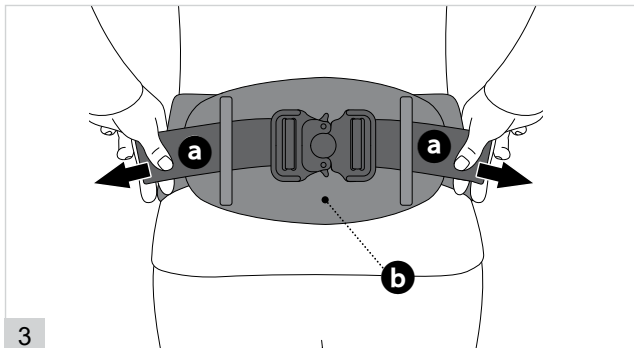
- ご使用の前に、バックルや、ショルダーストラップ、ウエストベルトなど、各パーツの動作、状態に異常がないことを確認してください。

着脱時の注意事項

- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- ① ウエストベルト(●a)をバックサポートのゴムループ(●b)に通し、ウエストバックル(●c)を留めます。
- ② 必ずウエストベルトがゴムループ(●b)に通っていることを確認してください。



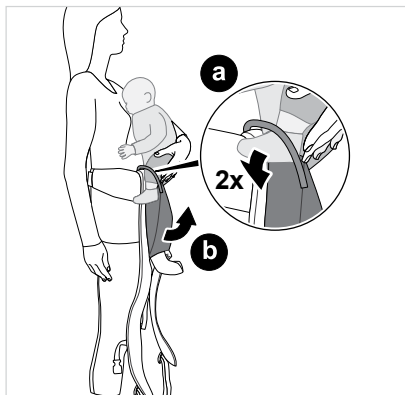
- ③ バックサポート(●b)が使用者の身体の中央に位置するように、左右のウエストベルト(●a)を上図の矢印の方向に均等に引っ張ります。
バックサポート(●b)が上下左右に簡単に動かないように、しっかりとウエストベルトを締めてください。

レッグループを使う

！ 警告**着脱時の注意事項**

- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ずレッグループを使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。

クロス装着時は、
必ずレッグループを使用してください。
*またより安全にご使用いただくため、その他の抱き方、
装着時においても「レッグループ」をご活用いただけます。



- ① ベースシートの内側にあるレッグループに、片方づつお子さまの脚を通します。(a) (左右2箇所)
- ② ベースシートを持ち上げます。(b)

ショルダーストラップを装着する

警告

使用前の注意事項

- ご使用の前に、バックルや、ショルダーストラップ、ウエストベルトなど、各パーツの動作、状態に異常がないことを確認してください。

着脱時の注意事項

- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

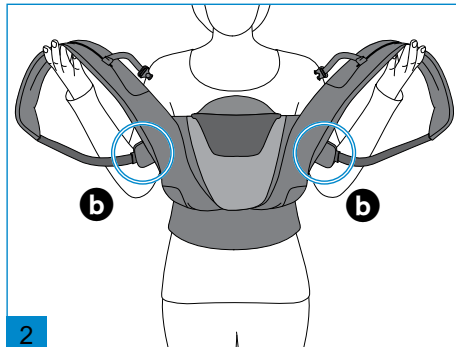
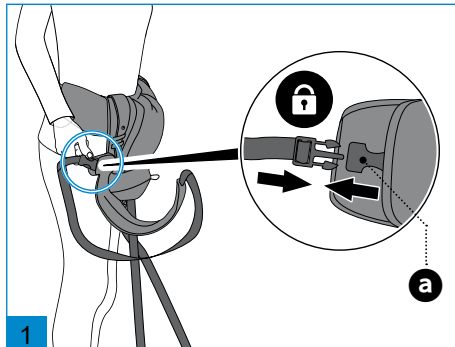
使用時の注意事項

- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように奥に押し込み、お子さまの手指が入らないように注意してください。

- 本製品のショルダーストラップは、異なる位置にある2つのショルダーバックル(トップショルダーバックル/ボトムショルダーバックル)の、どちらにでも固定して使用することができます。
- ショルダーバックルは左右同じ位置のバックルを使用してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように、奥に押し込んでください。

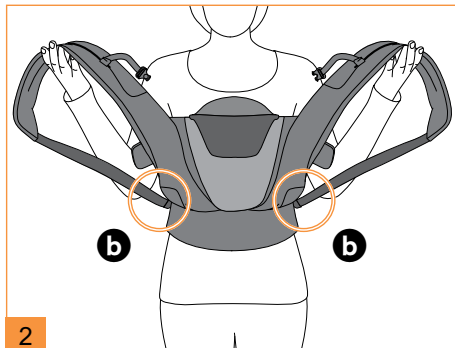
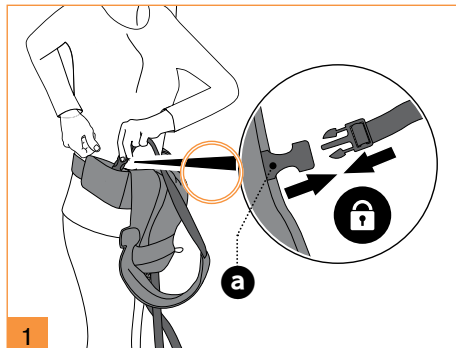
トップショルダーバックル

ショルダーストラップを装着する



- ① ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(●)にカチッと音がするまで差込みます。
(左右2箇所)
- ② ショルダーストラップが左右のトップショルダーバックルにしっかり留まっていることを確認してください(●)。

ボトムショルダーバックル



- ① ショルダーストラップの先端にあるバックルをボトムショルダーバックル(●a)にカチッと音がするまで差込みます。
(左右2箇所)
- ② ショルダーストラップが左右のボトムショルダーバックルにしっかり留まっていることを確認してください(●b)。

ベアシート幅とヒップポジションを調節する

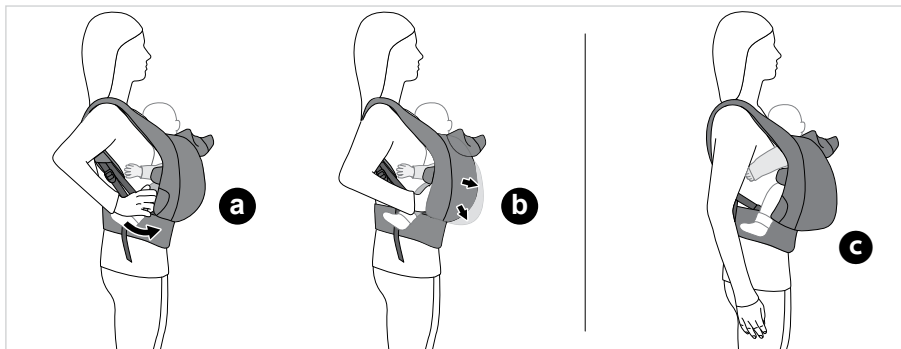
警告

着脱時の注意事項

- 必ずベアシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスができる高さにウエストベルトを調節してください。

使用時の注意事項

- 生後4ヶ月未満、または首が完全に座っていないお子さまは、決して使用者の身体に顔を強く押し当てないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態にショルダーストラップの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 使用者とお子さまの腹部の間に、手のひら1枚分（首がすわったらこぶし1個分）の間隔を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの顎の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが前のめりにならないように、ベアシートで背中を十分に支えてください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。



- ① ベースシートの左右の端を縮めたり、伸ばしたりしてお子さまの太ももから膝の裏まで支えるよう調節します。(a)
- ② ベースシートとお子さまのお尻の間に手を入れて、お子さまのお尻がベースシートのくぼみにしっかりとおさまり、背中が緩やかなC字型になるように調節します。(b)
- ③ お子さまの背中が緩やかなC字型、脚が自然なM字型になっていることを確認してください。(c)

フード&ネックサポートを使う

警告

使用条件に関する注意事項

- お子さまの首がすわるまでは、フード&ネックサポートでお子さまの首をしっかりと支えて使用してください。
お子さまが埋もれて体調を損なうおそれがあります。

着脱時の注意事項

- フードを使用する時は、お子さまの口の周りに被らないように注意してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きでは、フードを使用しないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。

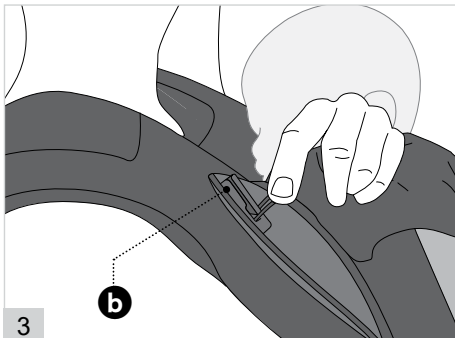
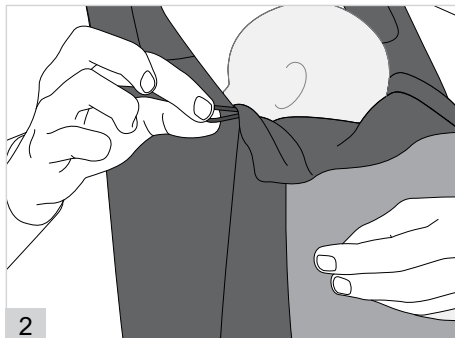
使用前の注意事項

- ご使用の前に、バックルや、ショルダーストラップ、ウエストベルトなど、各パーツの動作、状態に異常がないことを確認してください。

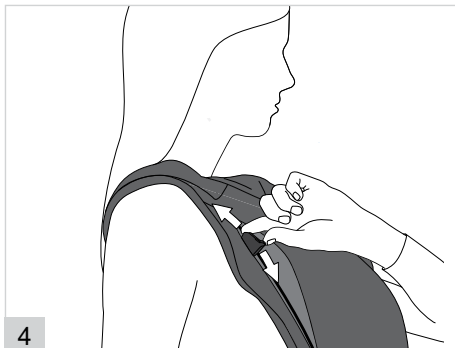
使用時の注意事項

- お子さまが眠っている場合は、フード&ネックサポートを使用して、お子さまの頭部を支えてください。

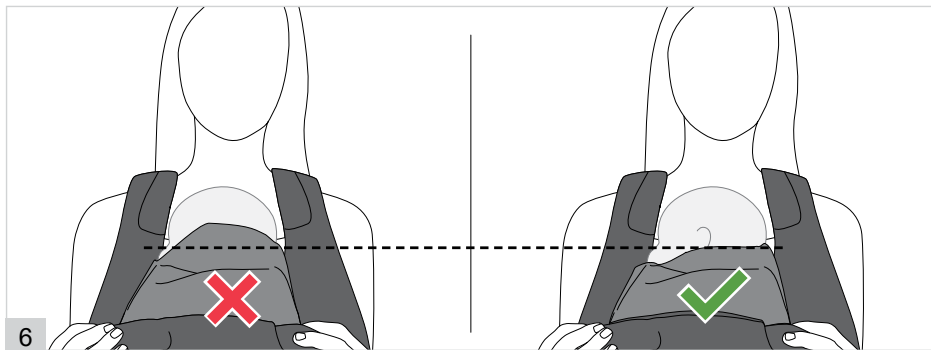
- お子さまの首がすわるまでは、フードをネックサポートとして必ず使用してください。



- ① フードの先端からクルクルとフードを手前に丸めます(a)。
- ② フードストラップについているプラー(引き手)をつまみます。
- ③ フード用スライダーにフードストラップを引っ掛けます。(b)



- ④ フード用スライダーを上下に調節します。
- ⑤ お子さまの首がしっかりと支えられていることを確認してください。



6

- ⑥ お子さまの耳が完全に隠れたり、耳が完全に出たりしないように、フード&ネックサポートの位置を調節してください。お子さまの耳の中央まで支えてください。

対面抱き(パラレル装着)

生後0ヶ月(3.2kg以上)～36ヶ月頃(15kg)まで

※生後0ヶ月から1ヶ月まで、24ヶ月以上はSGマークの適用対象外です。

警告

着脱時の注意事項

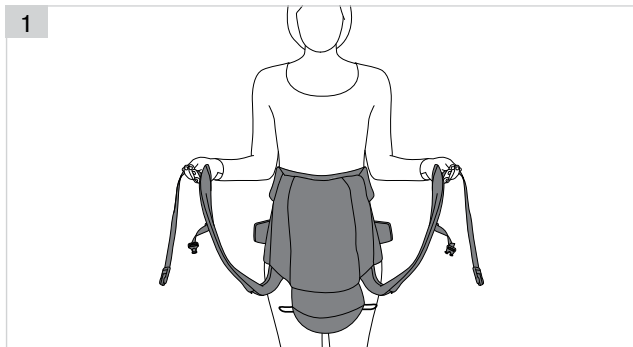
- 着脱は可能な限り低い姿勢や、安全な場所で行ってください。また、人にサポートしていただきながら行うと、より安全です。特に、おんぶの際は、注意してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまをしっかり支えながら、着脱を行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずベースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスができる高さにウエストベルトを調節してください。
- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **警告****使用時の注意事項**

- 生後4ヶ月未満、または首が完全に座っていないお子さまは、決して使用者の身体に顔を強く押し当てないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態に肩ベルトの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 使用者とお子さまの腹部の間に、手のひら1枚分（首がすわったらこぶし1個分）の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの頭の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが前のめりにならないように、ベースシートで背中を十分に支えてください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように奥に押し込み、お子さまの手指が入らないように注意してください。

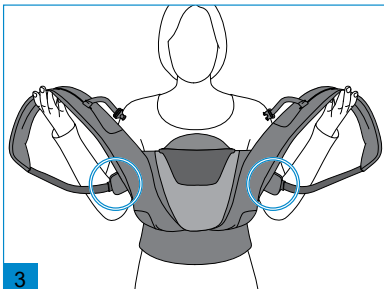
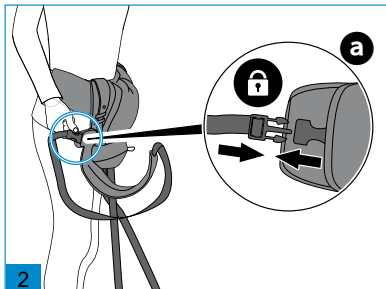


お子さまと向かい合い、ショルダーストラップを平行に装着する方法です。

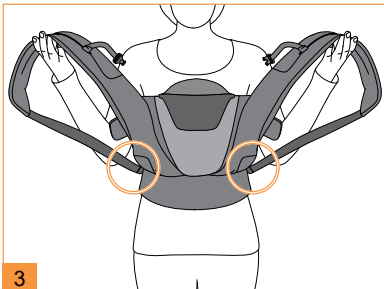
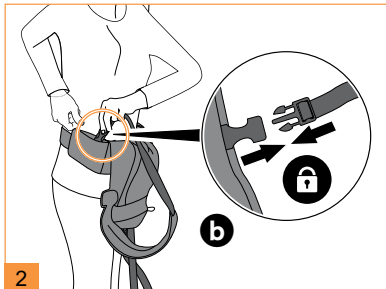


① ウエストベルトを装着します。(P.23参照)

トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時



- ② ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(Ⓐ)またはボトムショルダーバックル(Ⓑ)にカチッと音がするまで差込みます。(左右2箇所)
- ③ ショルダーストラップが左右のトップショルダーバックルまたはボトムショルダーバックルにしっかり留まっていることを確認してください。



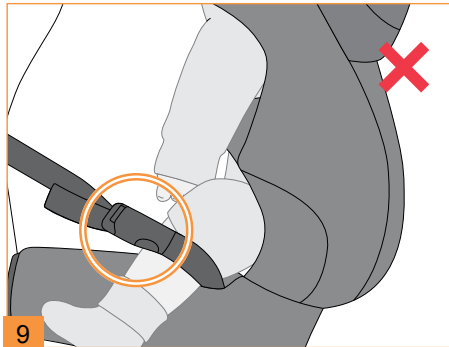
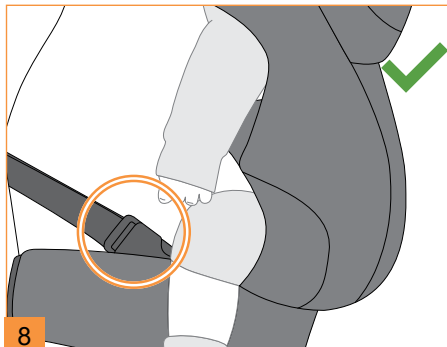
- ④ お子さまをウエストベルトの高さに抱き上げます。お子さまのおでこにキスできる高さであることを確認してください。
- ⑤ 片方の手でお子さまを支えながら、フード&ネックサポートの端を持ち、お子さまの背中に沿ってベースシートをかぶせます。



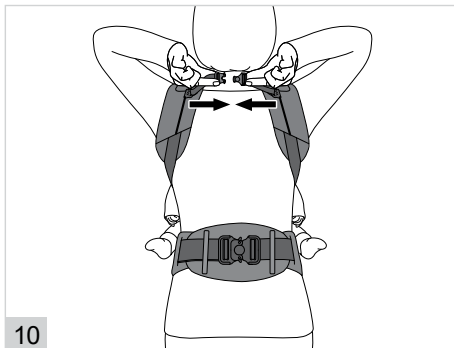
⑥片方のお子さまを支えながら、片方のショルダーストラップを肩にかけます。

⑦片方のお子さまを支えながら、もう片方のショルダーストラップを肩にかけます。

ボトムショルダーバックル使用時



- ⑧ ボトムショルダーバックルを使用する場合は、お子さまの足にショルダーストラップがかからないよう、ショルダーストラップを肩にかけてください。



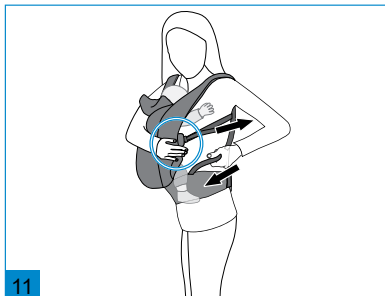
- ⑩ 背中側に手を回し、胸ストラップをカチッと音がするまで留めます。

POINT !

両方のショルダーストラップに沿って、背中の方へ手を回していくと胸ストラップを掴むことができます。

トップショルダーバックル使用時

11

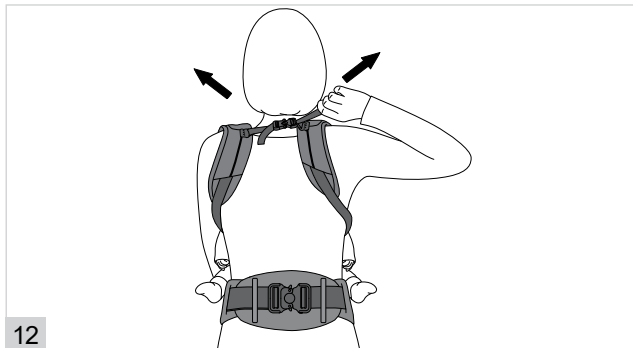


ボトムショルダーバックル使用時

11

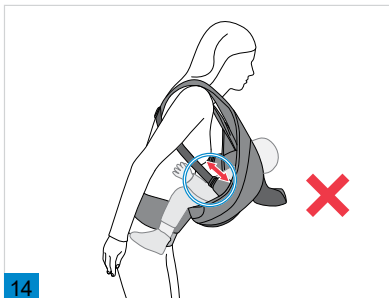
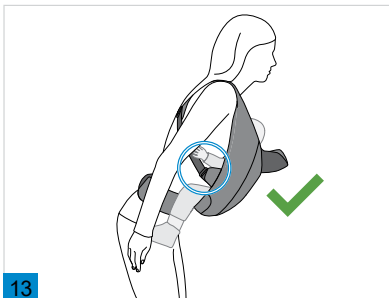


- ⑪ ショルダーストラップのベルトを引っ張りショルダーストラップを締めます。（両方向から引っ張ることができます）

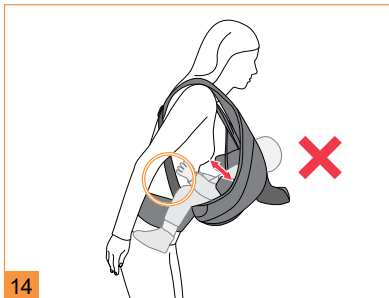
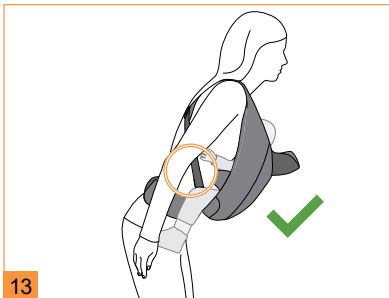


- ⑫ 胸ストラップの左右の端を引っ張り、胸ストラップの長さを調節します。肩からショルダーストラップがずり落ちないように調節してください。

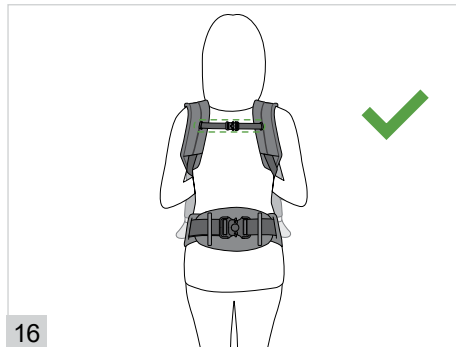
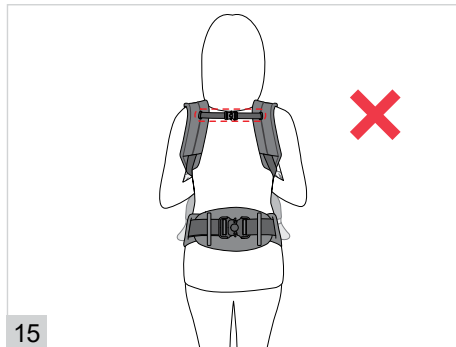
トップシヨルダ一バックル使用時



ボトムシヨルダ一バックル使用時



⑬ ⑭ 使用者の体を斜め前方に傾けた時、使用者とお子さまの間に隙間が生じないようにショルダ一ストラップを締めてください。



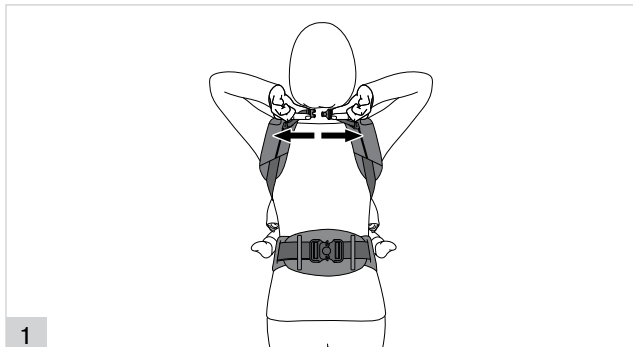
⑮⑯胸ストラップの高さを胸ストラップ用スライダーで調節してください。首の後ろではなく肩甲骨のあたりで留めてください。



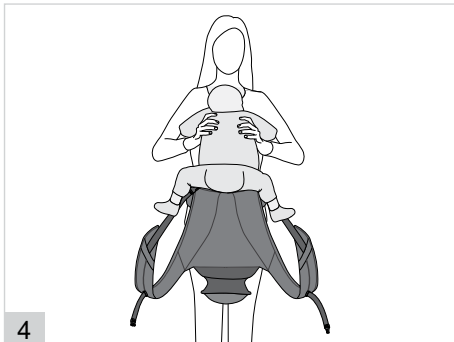
17

- ⑰ お子さまの正しい座り姿勢 (P.16 参照)、お子さまの正しい脚の形 (P.18 参照)を確認し、ベースシートの幅の調節 (a)とお子さまのヒップポジション (b)を調節してください。お子さまの背中が緩やかな C字型、脚が自然な M字型になっていることを確認してください。(c)

対面抱き
(パラレル装着)
おろし方



① 胸ストラップをはずします。



- ② ③片手でお子さまを支えながら片方ずつショルダーストラップを肩からはずします。
- ④ お子さまを両手で安全な場所へおろします。

対面抱き(クロス装着)

生後0ヶ月(3.2kg以上)～36ヶ月頃(15kg)まで

※生後0ヶ月から1ヶ月まで、24ヶ月以上はSGマークの適用対象外です。

 警告

着脱時の注意事項

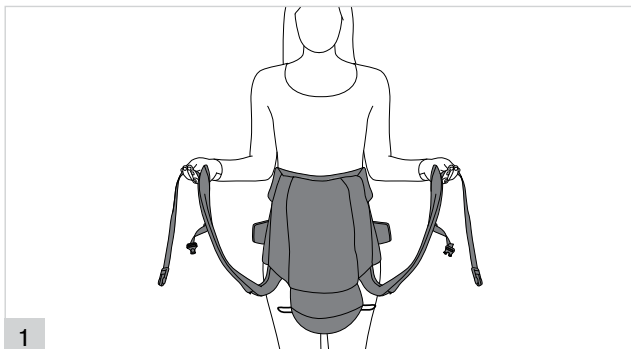
- 着脱は可能な限り低い姿勢や、安全な場所で行ってください。また、人にサポートしていただきながら行くと、より安全です。特に、おんぶの際は、注意してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまをしっかり支えながら、着脱を行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずペースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスができる高さにウエストベルトを調節してください。
- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまためてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ずレッグループを使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ず胸ストラップをスライダーで一番下まで下げてから装着してください。

 **警告****使用時の注意事項**

- 生後4ヶ月未満、または首が完全に座っていないお子さまは、決して使用者の身体に顔を強く押し当てないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態に肩ベルトの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 使用者とお子さまの腹部の間に、手のひら1枚分(首がすわったらこぶし1個分)の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの頭の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが前のめりにならないように、ベースシートで背中を十分に支えてください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように奥に押し込み、お子さまの手指が入らないように注意してください。

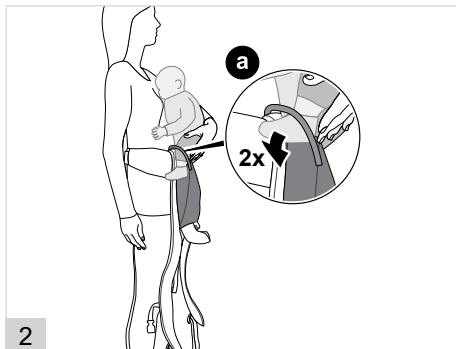
対面抱き
(クロス装着)
抱き方

お子さまと向かい合い、ショルダーストラップを背中でクロスさせて装着する方法です。

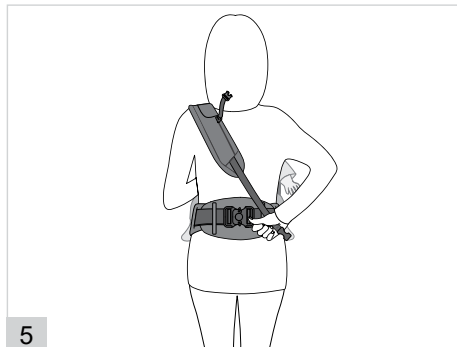


① 胸ストラップを一番下まで下げて、ウエストベルトを装着します。(P.23参照)

* 必ず装着前に胸ストラップが一番下まで下がっていることを確認してください。

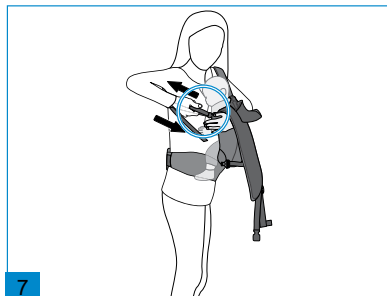
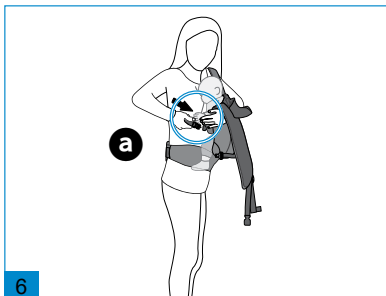


- ② お子さまをウエストベルトの高さに抱き上げます。ベースシートの内側にあるレッグループに片方ずつお子さまの脚を通します(●)。(左右2箇所) お子さまのおでこにキスできる高さであることを確認してください。
- ③ 片方の手でお子さまを支えながら、フード&ネックサポートの端を持ち、お子さまの背中に沿ってベースシートをかぶせます。

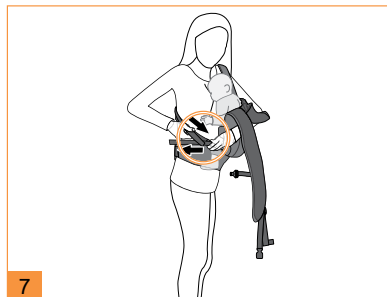
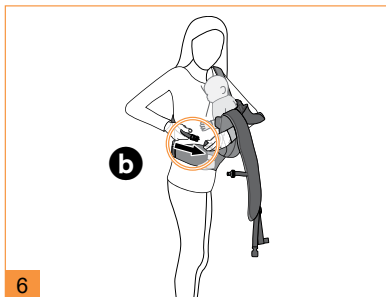


- ④ 片方の手でお子さまを支えながら、片方のショルダーストラップを肩にかけます。
- ⑤ 片方の手でお子さまを支えながら、ショルダーストラップがかかっていない方の手を背中側に回し、ショルダーストラップを背中でもクロスさせ、ベルト部分をつかみます。

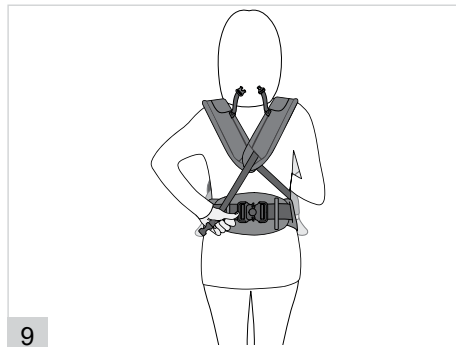
トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時

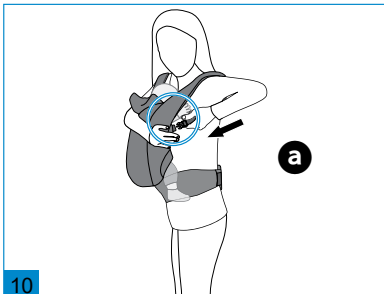


- ⑥ ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(Ⓐ)またはボトムショルダーバックル(Ⓑ)にカチッと音がするまで差込みます。
- ⑦ ショルダーストラップのベルトを引っ張りショルダーストラップを締めます。(両方向から引っ張ることができます)

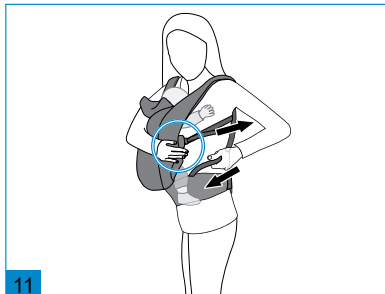


- ⑧ 片方の手でお子さまを支えながら、残りのショルダーストラップを肩にかけます。
- ⑨ 片方の手でお子さまを支えながら、ショルダーストラップがかかっていない方の手を背中側に回し、ショルダーストラップを背中でクロスさせ、ベルト部分をつかみます。

トップショルダーバックル使用時

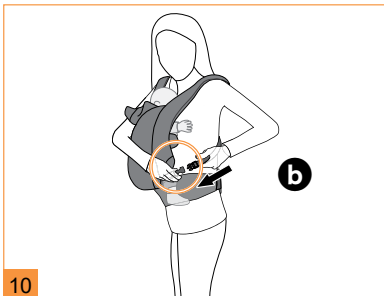


10



11

ボトムショルダーバックル使用時

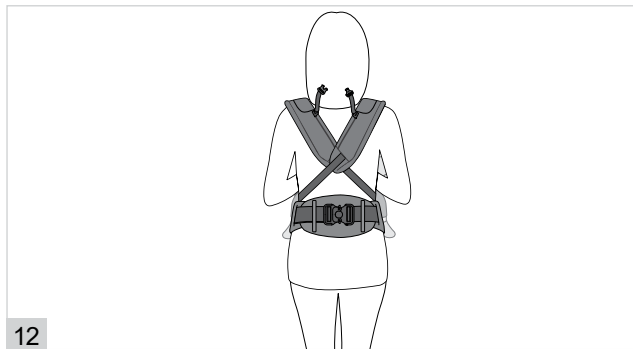


10



11

- ⑩ ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(●a)またはボトムショルダーバックル(●b)にカチッと音がするまで差込みます。
- ⑪ ショルダーストラップのベルトを引っ張りショルダーストラップを締めます。(両方向から引っ張ることができます)

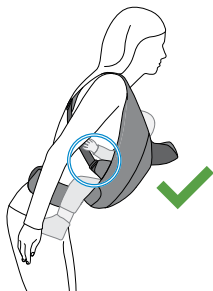


12

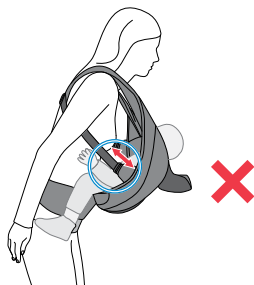
⑫ ショルダーストラップにねじれがないか確認してください。

トップショルダーストラップ使用時

13

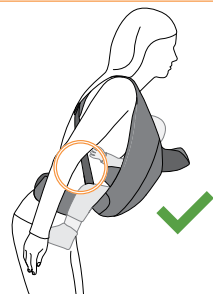


14

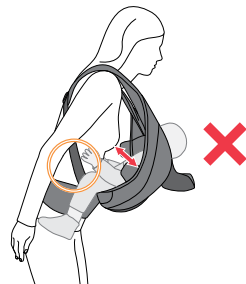


ボトムショルダーストラップ使用時

13

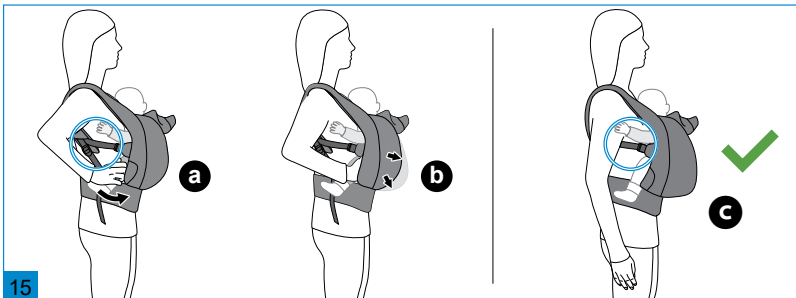


14

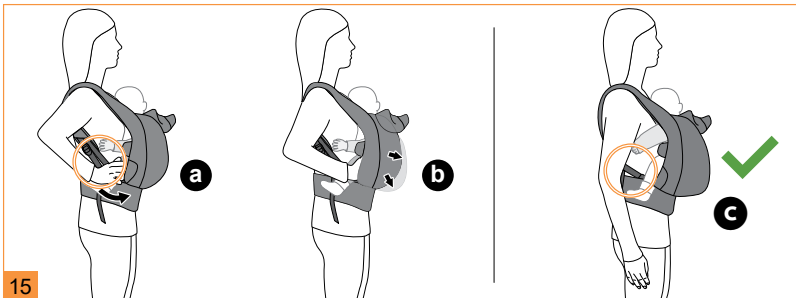


- ⑬⑭ 使用者の体を斜め前方に傾けた時、使用者とお子さまの間に隙間が生じないようにショルダーストラップを締めてください。

トップショルダーバックル使用時



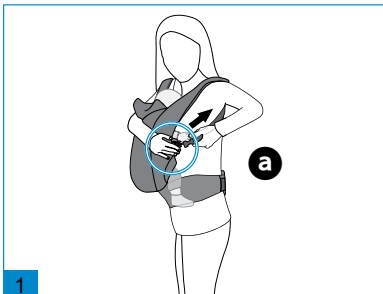
ボトムショルダーバックル使用時



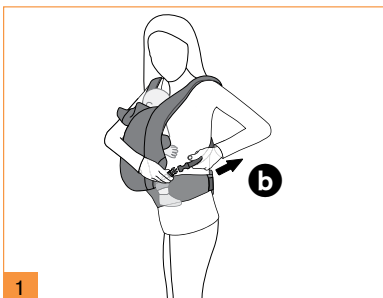
- ⑮ お子さまの正しい座り姿勢 (P.16 参照)、お子さまの正しい脚の形 (P.18 参照) を確認し、ベースシートの幅の調節 (a) とお子さまのヒップポジション (b) を調節してください。お子さまの背中が緩やかな C 字型、脚が自然な M 字型になっていることを確認してください。ボトムショルダーバックルを使用した場合は、お子さまの足にショルダーストラップがかからないよう、注意してください。(c)



トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時



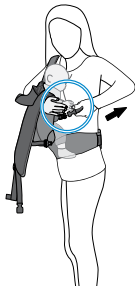
- ① 片方のお子さまを支えながら、ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(●a)、またはボトムショルダーバックル(●b)からはずします。



- 2 片方のお子さまを支えながら、ショルダーストラップを肩からおろします。

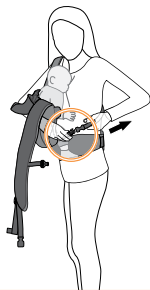
トップショルダーバックル使用時

3

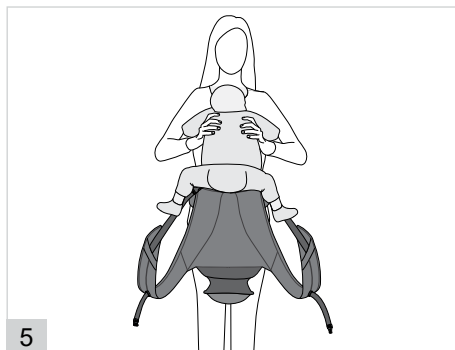


ボトムショルダーバックル使用時

3



- ③ 片方のお子さまを支えながら、残りのショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(④)、またはボトムショルダーバックル(⑤)をはずします。



- ④片方のお子さまを支えながら、残りのショルダーストラップを肩からおろします。
⑤お子さまを両手で安全な場所へおろします。

前向き抱き(パラレル装着)

腰がすわった生後6ヶ月頃～36ヶ月頃(15kg)まで

※生後24ヶ月以上はSGマークの適用対象外です。

警告

使用条件に関する注意事項

- お子さまの腰がすわる(6ヶ月頃)までは、「前向き抱き」および「おんぶ」はしないでください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。

着脱時の注意事項

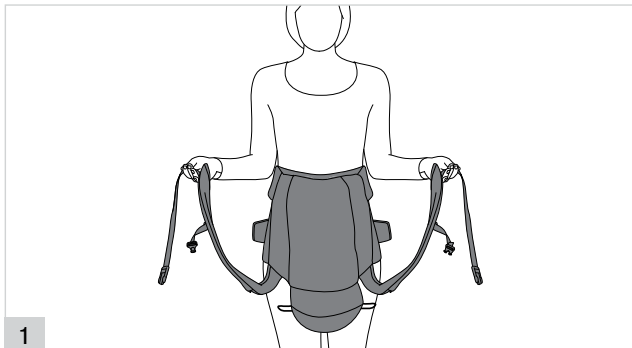
- 着脱は可能な限り低い姿勢や、安全な場所で行ってください。また、人にサポートしていただきながら行うと、より安全です。特に、おんぶの際は、注意してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまをしっかり支えながら、着脱を行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずベースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスができる高さにウエストベルトを調節してください。
- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **警告****使用時の注意事項**

- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態に肩ベルトの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの顎の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きでは、フードを使用しないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きは、お子さまが起きている状態でのみ使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱き、対面抱きの時は足元が見えにくい場合がありますので歩行には注意をしてください。
転倒し使用者及びお子さまが怪我をするおそれがあります。
- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように奥に押し込み、お子さまの手指が入らないように注意してください。

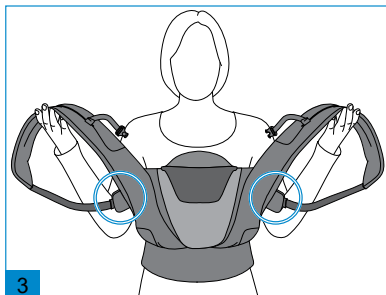
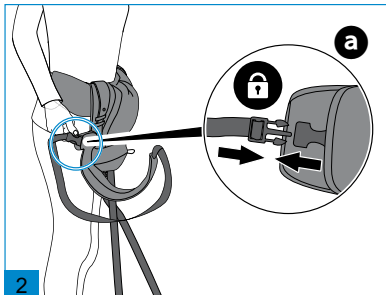
前向き抱き
(パラレル装着)
抱き方

お子さまと使用者が同じ方向を向き、ショルダーストラップを平行に装着する方法です。

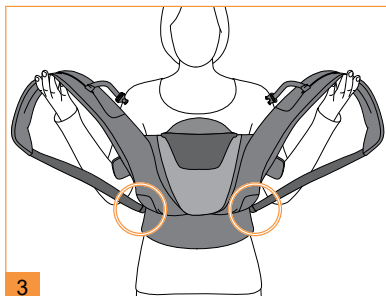
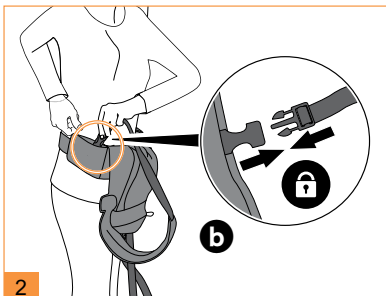


① ウエストベルトを装着します。(P.23参照)

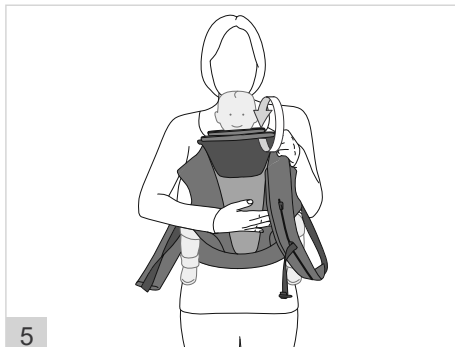
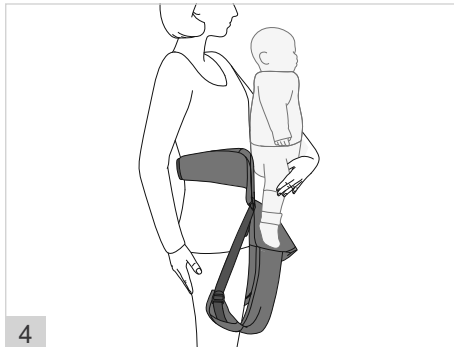
トップショルダーバックル使用時



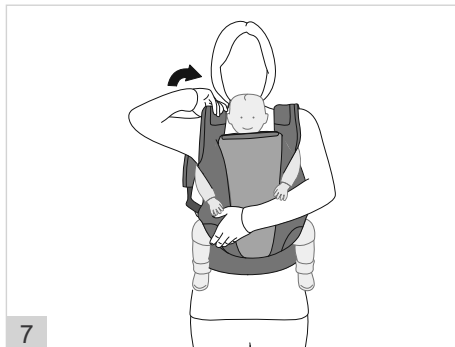
ボトムショルダーバックル使用時



- ② ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(Ⓐ)またはボトムショルダーバックル(Ⓑ)にカチッと音がするまで差込みます。(左右2箇所)
- ③ ショルダーストラップが左右のトップショルダーバックルまたはボトムショルダーバックルにしっかり留まっていることを確認してください。

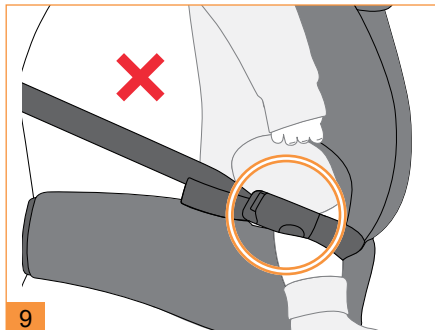
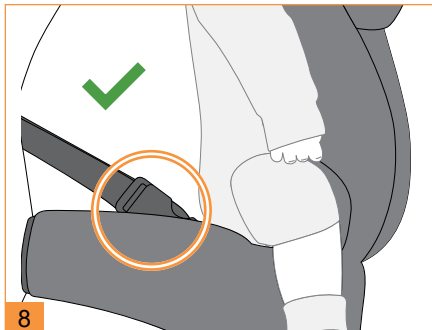


- ④ お子さまを使用者と同じ方向を向かせ、ウエストベルトの高さに抱き上げます。お子さまのおでこにキスできる高さであることを確認してください。
- ⑤ 片方のお子さまを支えながら、フード&ネックサポートの端を持ち、ベースシートをかぶせます。フード&ネックサポートをお子さまとベースシートの間に折込みます。

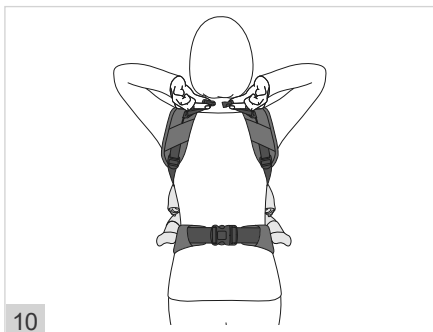


- ⑥ 片方の手でお子さまを支えながら、片方のショルダーストラップを肩にかけます。
⑦ 片方の手でお子さまを支えながら、もう片方のショルダーストラップを肩にかけます。

ボトムショルダーバックル使用時



- ⑧ ⑨ボトムショルダーバックルを使用する場合は、お子さまの足にショルダーストラップがかからないよう、ショルダーストラップを肩にかけてください。

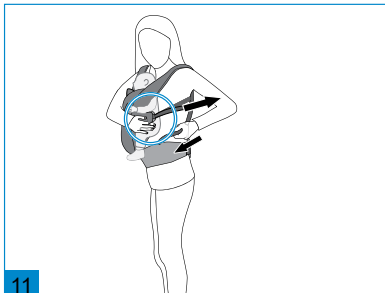


- ⑩ 背中側に手を回し、胸ストラップをカチッと音がするまで留めます。

POINT!

両方のショルダーストラップに沿って、背中の方へ手を回していき胸ストラップを掴むことができます。

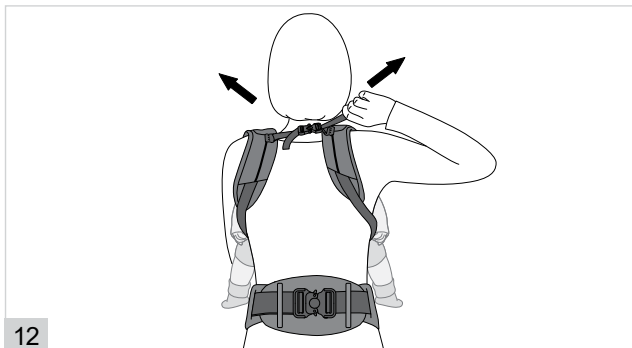
トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時

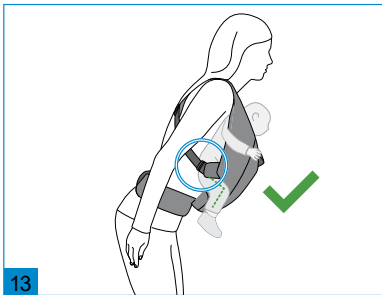


- ⑪ ショルダーストラップのベルトを引っ張りショルダーストラップを締めます。（両方向から引っ張ることができます）

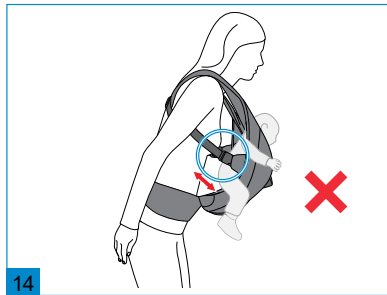


- ⑫ 胸ストラップの左右の端を引っ張り、胸ストラップの長さを調節します。肩からショルダーストラップがずり落ちないように調節してください。

トップショルダーバックル使用時

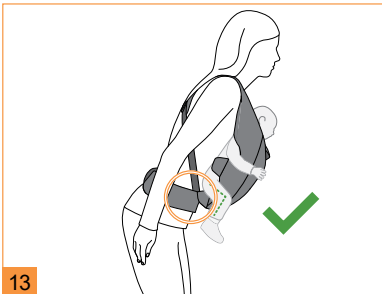


13



14

ボトムショルダーバックル使用時

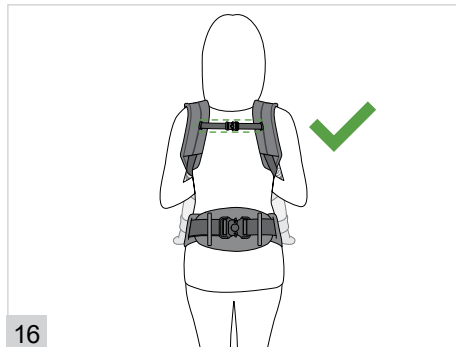
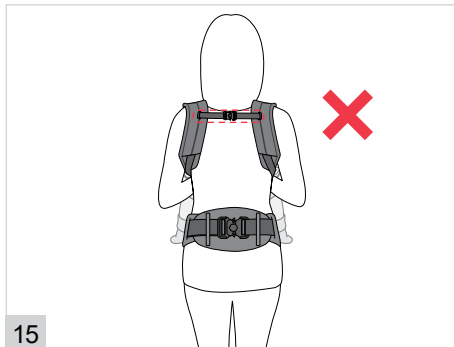


13



14

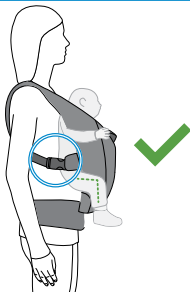
- ⑬⑭ 使用者の体を斜め前方に傾けた時、使用者とお子さまの間に隙間が生じないようにショルダーストラップを締めてください。



⑮⑯胸ストラップを胸ストラップ用スライダーで高さを調節してください。首の後ろではなく肩甲骨のあたりで留めてください。

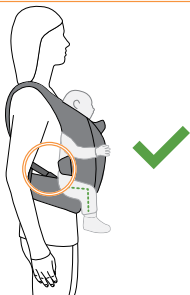
トップシヨルターバックル使用時

17



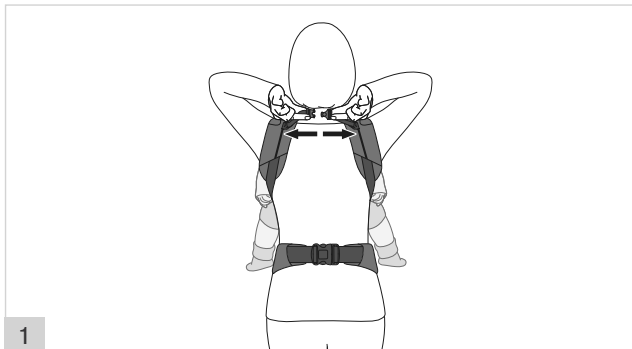
ボトムシヨルターバックル使用時

17



- ⑰ お子さまの正しい脚の形 (P.18参照)を確認し、ベースシートの幅の調節とお子さまのヒップポジションを調節してください。お子さまの背中が緩やかなC字型、脚が自然なM字型になっていることを確認してください。

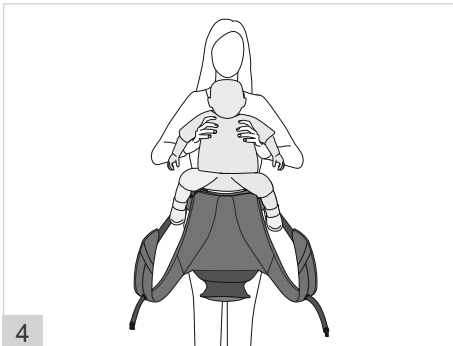
前向き抱き
(パラレル装着)
おろし方



① 胸ストラップをはずします。



- ②③片手でお子さまを支えながら片方ずつショルダーストラップを肩からはずします。
- ④お子さまを両手で安全な場所へおろします。



前向き抱き(クロス装着)

腰がすわった生後6ヶ月頃～36ヶ月頃(15kg)まで

※生後24ヶ月以上はSGマークの適用対象外です。

警告

使用条件に関する注意事項

- お子さまの腰がすわる(6ヶ月頃)までは、「前向き抱き」および「おんぶ」はしないでください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。

着脱時の注意事項

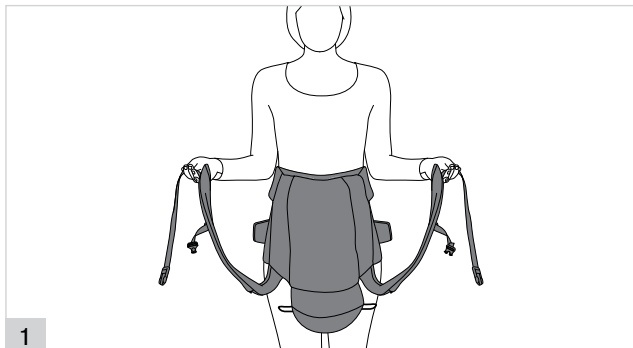
- 着脱は可能な限り低い姿勢や、安全な場所で行ってください。また、人にサポートしていただきながら行くと、より安全です。特に、おんぶの際は、注意してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまをしっかりと支えながら、着脱を行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずベースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- お子さまを抱く高さは、使用者がお子さまのおでこにキスができる高さにウエストベルトを調節してください。
- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認して使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ずレッグループを使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 対面抱き、及び前向き抱きのクロス装着時は、必ず胸ストラップをスライダーで一番下まで下げてから装着してください。

 **警告****使用時の注意事項**

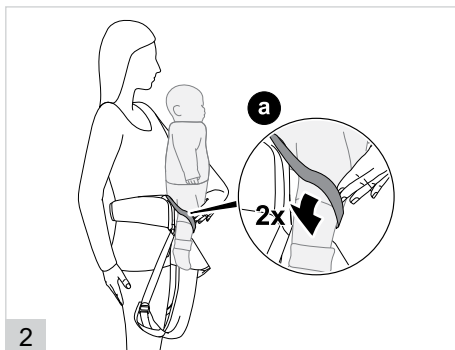
- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態に肩ベルトの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの顎の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きでは、フードを使用しないでください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱きは、お子さまが起きている状態でのみ使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 前向き抱き、対面抱きの時は足元が見えにくい場合がありますので歩行には注意をしてください。
転倒し使用者及びお子さまが怪我をするおそれがあります。
- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように奥に押し込み、お子さまの手指が入らないように注意してください。

前向き抱き
(クロス装着)
抱き方

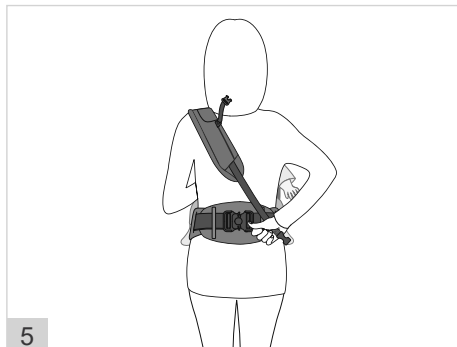
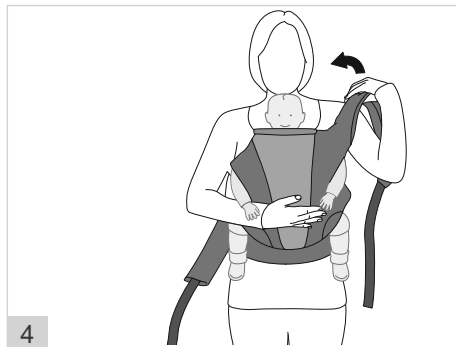
お子さまと使用者が同じ方向を向き、ショルダーストラップをクロスに装着する方法です。



- ① 胸ストラップを一番下まで下げて、ウエストベルトを装着します。(P.23参照)
* 必ず装着前に胸ストラップが一番下まで下がっていることを確認してください。

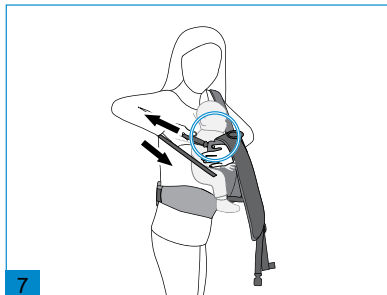
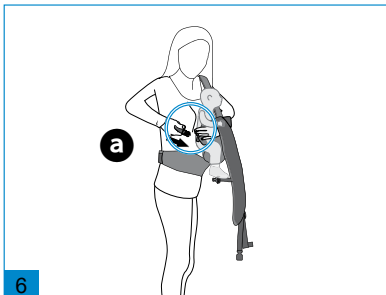


- 2
- ② お子さまをウエストベルトの高さに抱き上げます。ベースシートの内側にあるレッグループに片方ずつお子さまの脚を通します(Ⓐ)。(左右2箇所) お子さまのおでこにキスできる高さであることを確認してください。
- 3
- ③ 片方の手でお子さまを支えながら、フード&ネックサポートの端を持ち、お子さまの背中に沿ってベースシートをかぶせます。

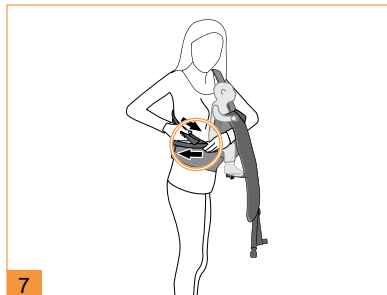
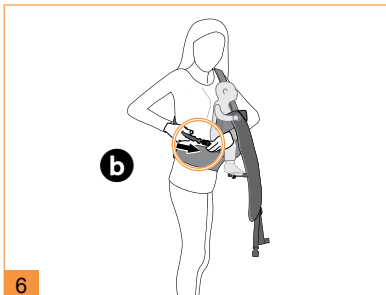


- ④ 片方の手でお子さまを支えながら、片方のショルダーストラップを肩にかけます。
- ⑤ 片方の手でお子さまを支えながら、ショルダーストラップがかかっている方の手を背中側に回し、ショルダーストラップを背中でクロスさせ、ベルト部分をつかみます。

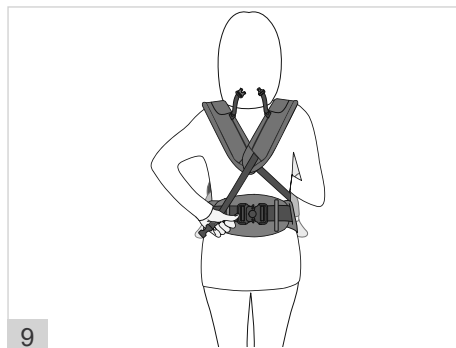
トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時

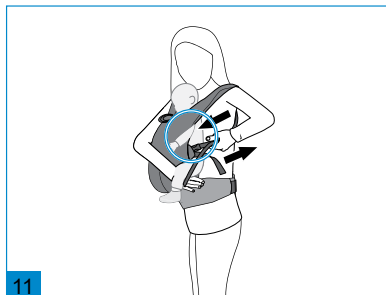
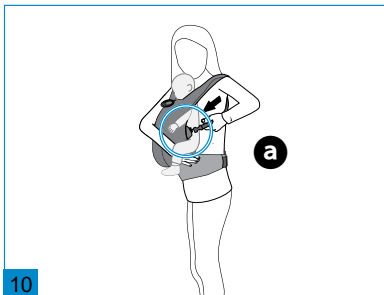


- ⑥ ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(Ⓐ)またはボトムショルダーバックル(Ⓑ)にカチッと音がするまで差込みます。
- ⑦ ショルダーストラップのベルトを引っ張りショルダーストラップを締めます。(両方向から引っ張ることができます)

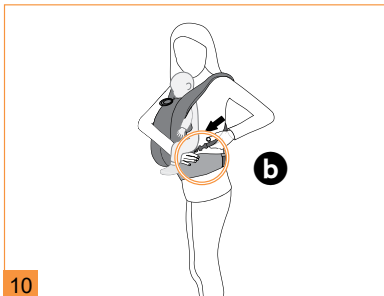


- ⑧ 片方の手で赤ちゃんを支えながら、残りのショルダーストラップを肩にかけます。
- ⑨ 片方の手で赤ちゃんを支えながら、ショルダーストラップがかかっていない方の手を背中側に回し、ショルダーストラップを背中でクロスさせ、ベルト部分をつかみます。

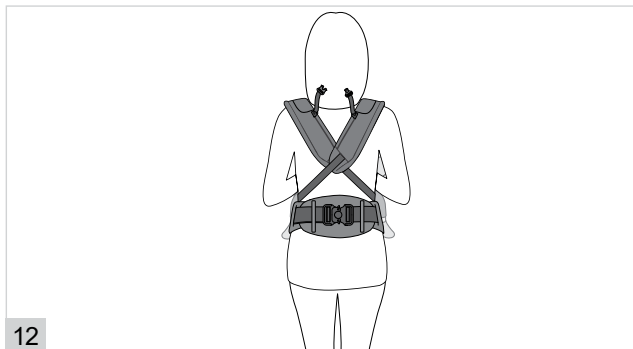
トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時



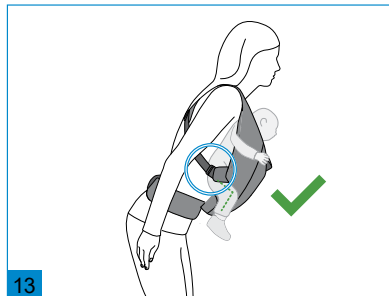
- ⑩ ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(Ⓐ)またはボトムショルダーバックル(Ⓑ)にカチッと音がするまで差込みます。
- ⑪ ショルダーストラップのベルトを引っ張りショルダーストラップを締めます。(両方向から引っ張ることができます)



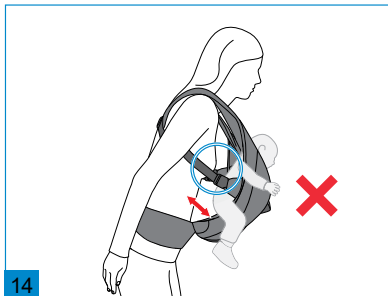
12

⑫ ショルダーストラップにねじれがないか確認してください。

トップシヨルターバックル使用時

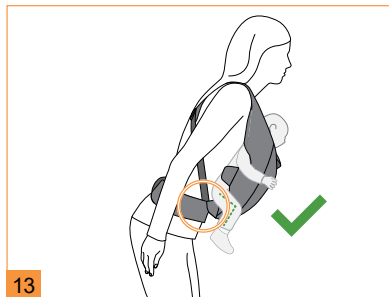


13



14

ボトムシヨルターバックル使用時



13

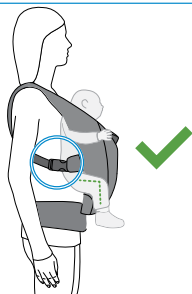


14

- ⑬⑭ 使用者の体を斜め前方に傾けた時、使用者とお子さまの間に隙間が生じないようにショルダーストラップを締めてください。

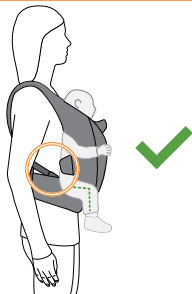
トップショルダーバックル使用時

15



ボトムショルダーバックル使用時

15



- ⑮ お子さまの正しい脚の形 (P.18参照)を確認し、ベースシートの幅の調節とお子さまのヒップポジションを調節してください。お子さまの背中が緩やかなC字型、脚が自然なM字型になっていることを確認してください。

前向き抱き
(クロス装着)
おろし方



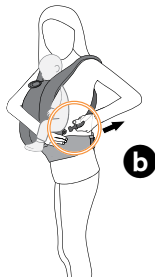
トップショルダーバックル使用時

1



ボトムショルダーバックル使用時

1

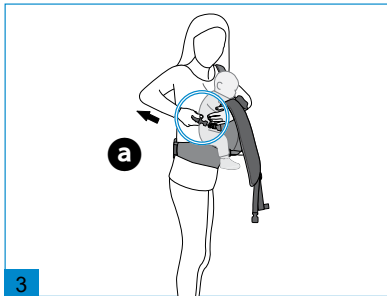


- ① 片方の手でお子さまを支えながら、ショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(●a)、またはボトムショルダーバックル(●b)からはずします。

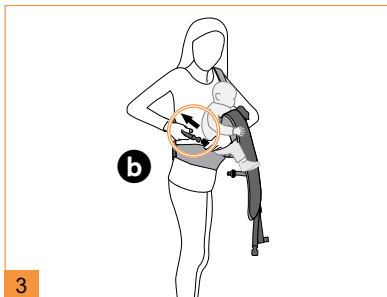


② 片方の手でお子さまを支えながら、ショルダーストラップを肩からおろします。

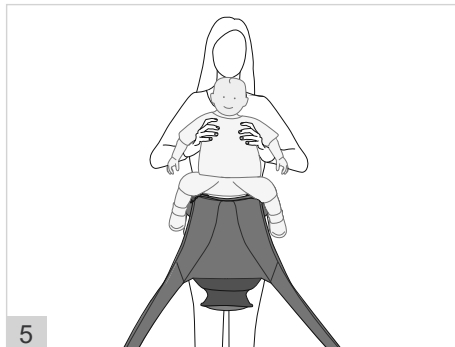
トップショルダーバックル使用時



ボトムショルダーバックル使用時



③ 片方の手でお子さまを支えながら、残りのショルダーストラップの先端にあるバックルをトップショルダーバックル(Ⓐ)、またはボトムショルダーバックル(Ⓑ)をはずします。



- ④片方の手でお子さまを支えながら、残りのショルダーストラップを肩からおろします。
⑤お子さまを両手で安全な場所へおろします。

おんぶ（パラレル装着）

腰がすわった生後6ヶ月頃～36ヶ月頃（15kg）まで

！ 警告**使用条件に関する注意事項**

- お子さまの腰がすわる（6ヶ月頃）までは、「前向き抱き」および「おんぶ」はしないでください。
窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。

着脱時の注意事項

- 着脱は可能な限り低い姿勢や、安全な場所で行ってください。また、人にサポートしていただきながら行うと、より安全です。特に、おんぶの際は、注意してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留める時は、お子さまの手指等を挟まないように注意してください。
お子さまが怪我をするおそれがあります。
- お子さまをしっかりと支えながら、着脱を行ってください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 各部のバックルを留めたあとは、ベルトを引っ張るなどしてバックルがはずれないことを確認し使用してください。
お子さまが落下するおそれがあります。
- 必ずベースシートをお子さまの身体の大きさに合わせて調節し、太ももと膝の裏まで支えられていることを確認してください。
- あまったベルトはベルトホルダーゴムで適度な長さにまとめてください。
ベルトが何かにひっかかったり、巻き込まれたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せた状態で、ウエストベルトのバックルをはずさないでください。
お子さまが落下するおそれがあります。

 警告

使用時の注意事項

- お子さまを使用者の身体に強く縛り付けずに、必ずお子さまの頭部が動かせる間隔を保った状態で肩ベルトの長さを調節して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- 使用者とお子さまの腹部の間に、手のひら1枚分（首がすわったらこぶし1個分）の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの呼吸の妨げにならないようお子さまの顎の下と胸の間には少なくとも指2本程度の隙間を確保してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまが前のめりにならないように、ベースシートで背中を十分に支えてください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- お子さまの気道が確保されているかに常に注意して使用してください。
お子さまの気道がふさがり窒息するおそれがあります。
- バックルの開口部にお子さまの手指を入れないように注意してください。
- 使用しないバックルは本体から飛び出ないように奥に押し込み、お子さまの手指が入らないように注意してください。

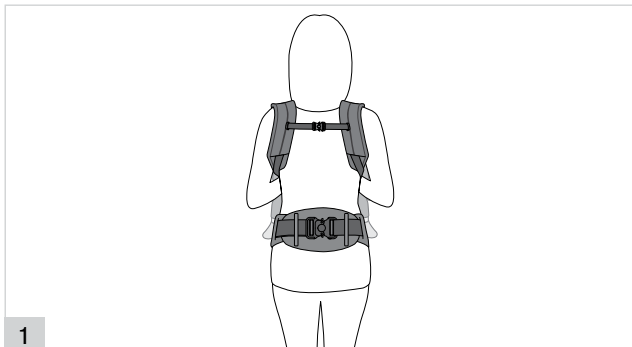
 注意

使用時の注意事項

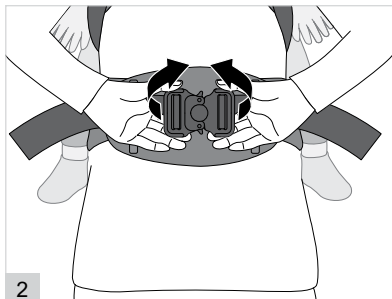
- おんぶでのご使用中は、お子さまの様子が見えにくい場合がありますので、よりお子さまの様子に注意を払ってください。



使用者の右側（右利きの場合）からお子さまを背中でおんぶする方法です。



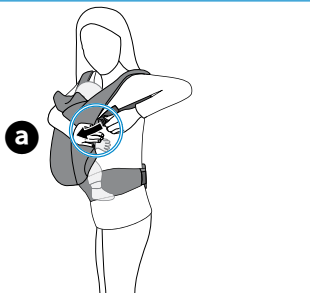
- ① まず、お子さまを対面抱き（パラレル装着）で正しく抱っこします。（P.36-P.47 参照）



- ② ウエストベルトのバックルの端を押し上げながら、ウエストベルトを少しゆるめます。

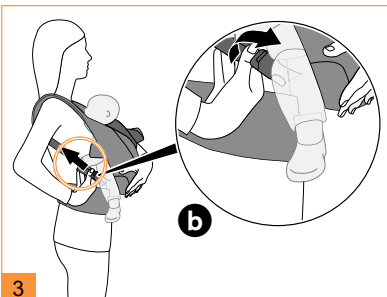
トップショルダーバックル使用時

3



ボトムショルダーバックル使用時

3

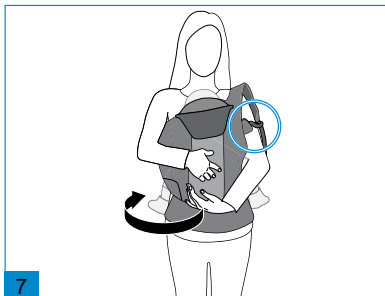
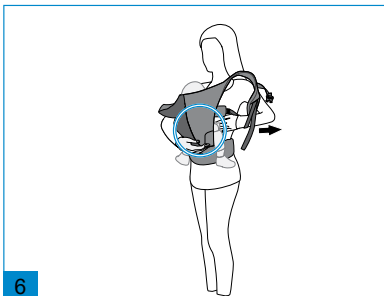


- ③ 片方のお手でお子さまを支えながら、トップショルダーバックル(●)、またはボトムショルダーバックル(●)の端を持ち上げ、ショルダーストラップをゆるめます。

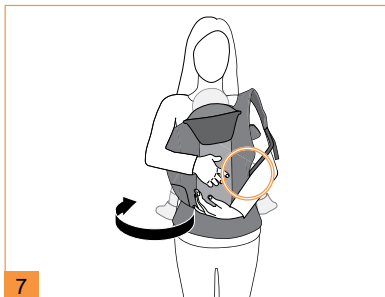
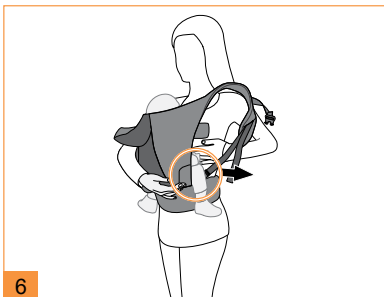


- ④ 片方の手(左手)でお子さまを支えながら、反対の手(右手)をショルダーストラップの下からくぐらせ、そのまま腕(右腕)を持ち上げショルダーストラップから抜きます。
- ⑤ ショルダーストラップから抜いた手(右手)でお子さまを支えます。

トップシヨルダーストラップ使用時

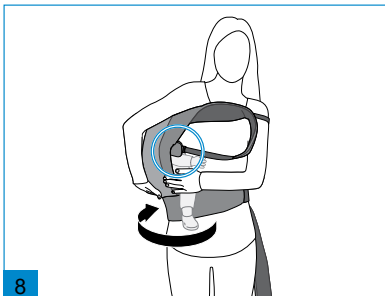


ボトムシヨルダーストラップ使用時

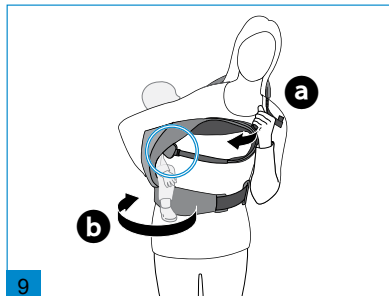


- ⑥ ⑤の状態ですっきりとお子さまを支えながら、左肘をシヨルダーストラップの脇部分の内側からくぐらせ、そのまま後方へ抜きます。
- ⑦ 後方へシヨルダーストラップから抜いた左手でお子さまを支えます。

トップシヨルターバックル使用時

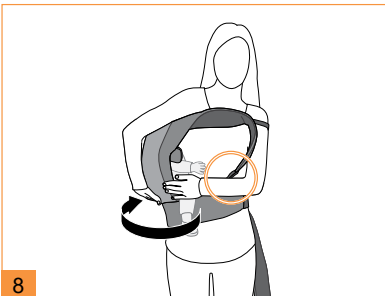


8

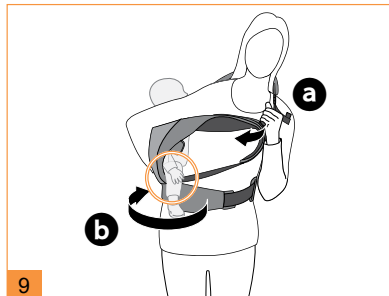


9

ボトムシヨルターバックル使用時



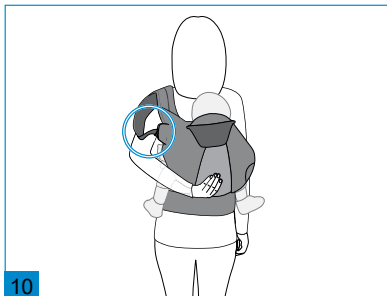
8



9

- ⑧ 左手でお子さまを支えながら、右腕の下にお子さまをくぐらせます。
- ⑨ 左手で胸ストラップを引っ張り(Ⓐ)、右手でお子さまを支えながら体に沿わせて背面へゆっくり移動させます(Ⓑ)。

トップシヨルダーバックル使用時



10

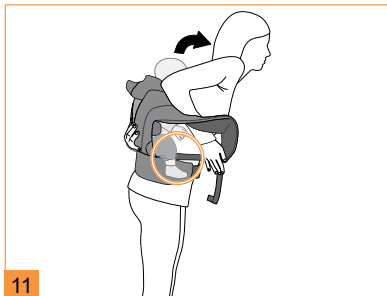


11

ボトムシヨルダーバックル使用時



10



11

- ⑩ お子さまが使用者の背中側に回ったら、左手でお子さまをしっかりと支えながら
 ⑪ 右腕をショルダーストラップに通します。

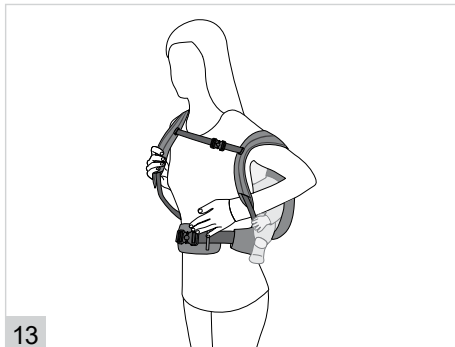
トップショルダーバックル使用時



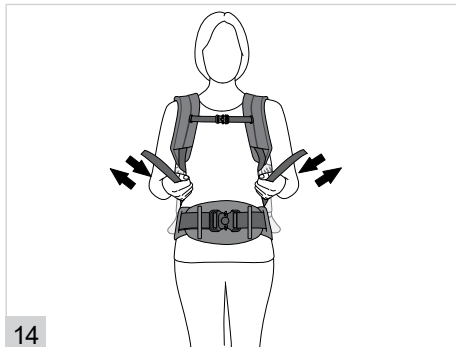
ボトムショルダーバックル使用時

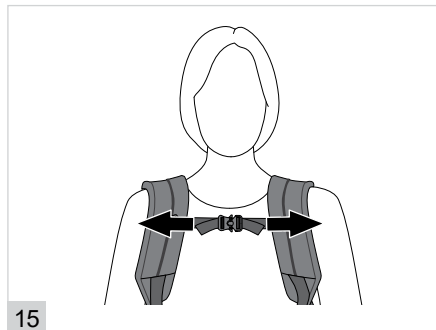


- ⑫ ショルダーストラップに通した右手で、ショルダーストラップを持ち、お子さまを支えます。



- ⑬ 左腕をショルダーストラップに通します。
⑭ ショルダーストラップの長さを調節します。





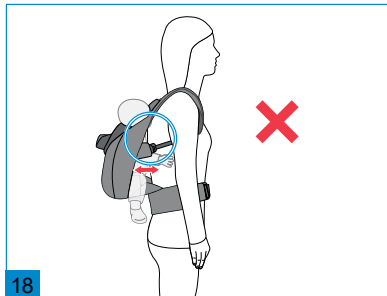
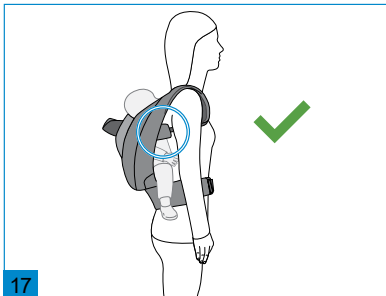
15



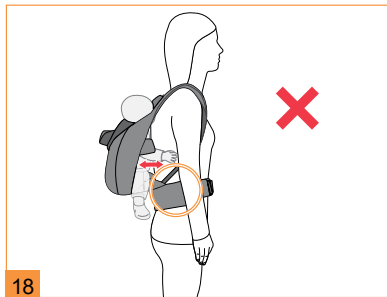
16

- ⑮ 胸ストラップの長さを調節します。肩からショルダーストラップがずり落ちないように調節してください。
- ⑯ ウエストベルトの長さを調節します。バックサポートが上下左右に簡単に動かないようにしっかりとウエストベルトを締めてください。

トップシヨルダーバックル使用時



ボトムシヨルダーバックル使用時



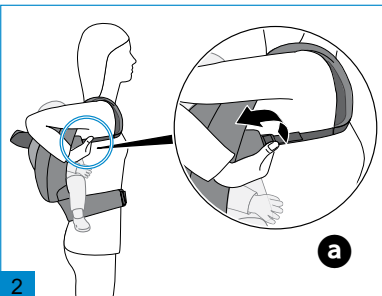
⑰⑱ 使用者とお子さまの間に隙間が生じないようにショルダーストラップを締めてください。

おんぶ
（パラレル装着）
おろし方



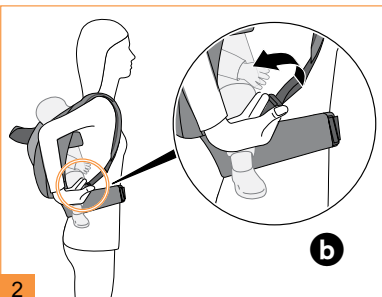
- ① ウエストベルトのバックルの端を押し上げながら、ウエストベルトを少しゆるめます。

トップショルダーバックル使用時



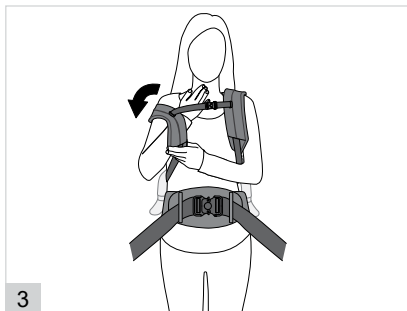
2

ボトムショルダーバックル使用時



2

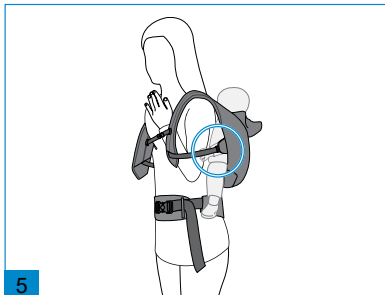
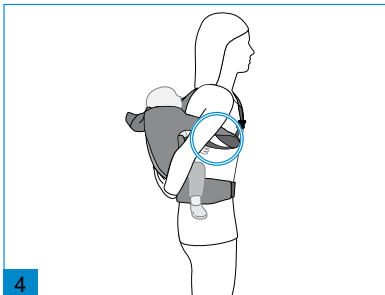
- ② 片方のお手でお子さまを支えながら、トップショルダーバックル(①a)、またはボトムショルダーバックル(①b)の端を持ち上げ、ショルダーストラップをゆるめます。



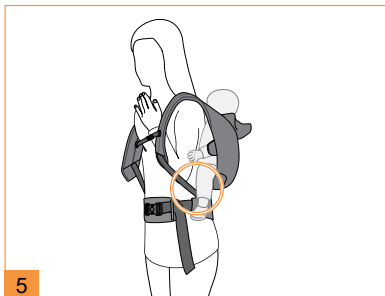
3

- ③ 右腕をショルダーストラップの下にくぐらせて、右腕を上方へ抜きます。

トップショルダーバックル使用時

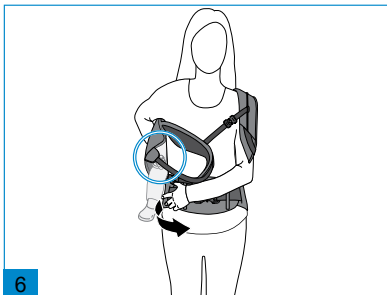


ボトムショルダーバックル使用時

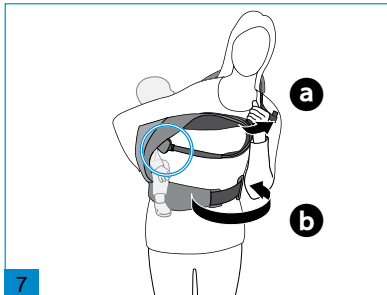


- ④ ショルダーストラップから抜いた右手を背中側に回し、お子さまを支えます。
- ⑤ ④の状態ですっかりとお子さまを支えながら、左肘をショルダーストラップの脇部分の内側からくぐらせ、そのまま前方へ抜きます。

トップシヨルターバックル使用時



6

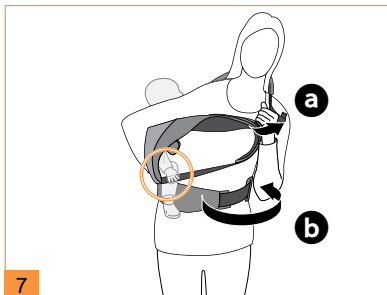


7

ボトムシヨルターバックル使用時



6



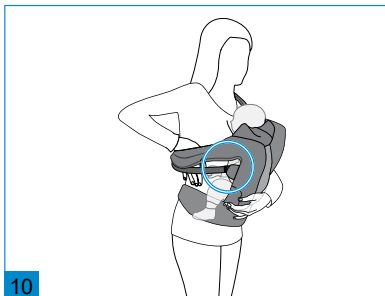
7

- ⑥ 右腕の下にお子さまをくぐらせ支えながら、左手でウエストベルトを前方へ回します。
- ⑦ 左手で胸ストラップを後方へ引き上げ(●)、右腕でお子さまを支えながら体に沿わせて使用者のお腹側へお子さまをゆっくり移動させます(●)。

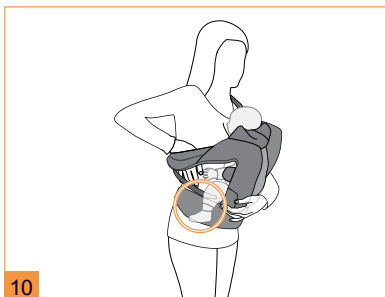


⑧⑨お子さまが使用者の正面にきたら、左手をショルダーストラップに通します。

トップシヨルダーバックル使用時



ボトムシヨルダーバックル使用時



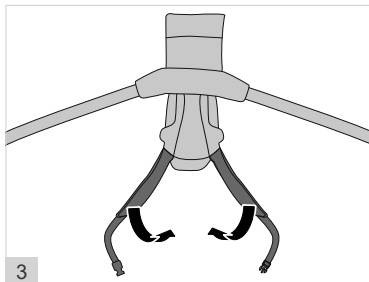
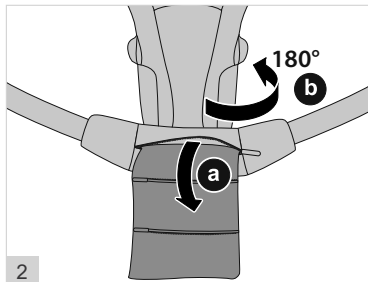
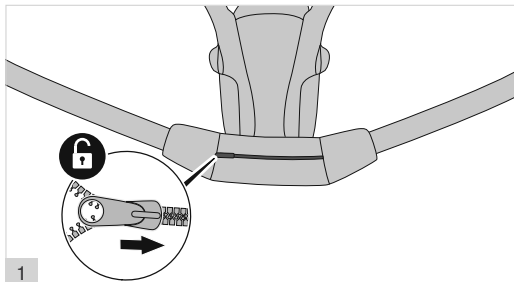
⑩⑪ 左手でお子さまを支えながら右手をショルダーストラップに通します。



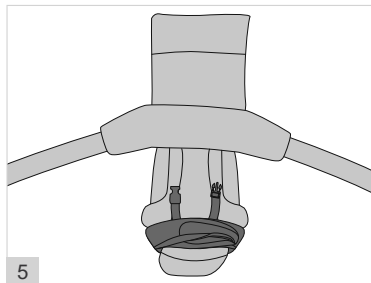
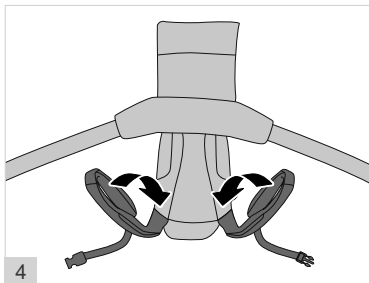
12

- ⑫ 対面抱き(パラレル装着)の状態になったら、「対面抱き(パラレル装着)おろし方」(P.48参照)を確認し、お子さまをおろします。

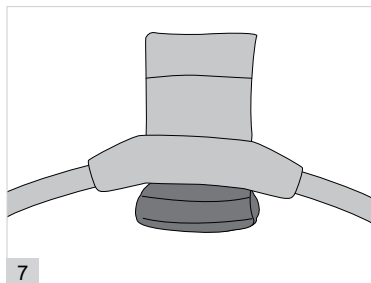
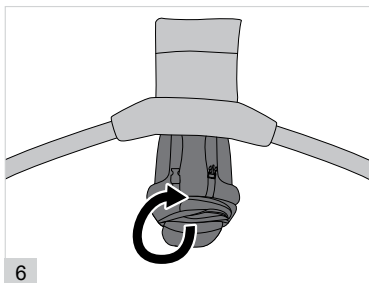
収納バックを使う



- ① ウエストベルトの前面のファスナーを開きます。
- ② ファスナー開口部から、収納バックを全て外側へ取り出し(Ⓐ)、本体を裏返します(Ⓑ)。
- ③ ショルダーストラップを折りたたみます。

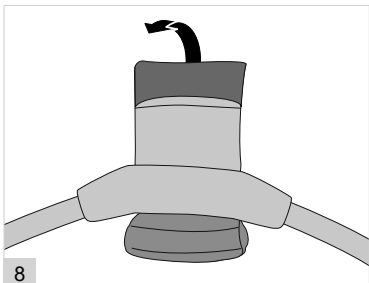


④⑤折りたたんだショルダーストラップを左右重ね合わせて、本体の内側にまとめます。

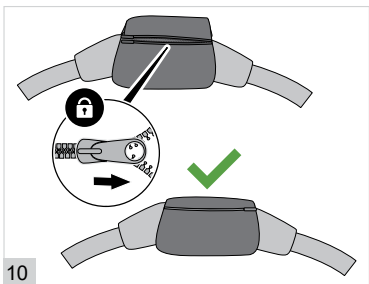
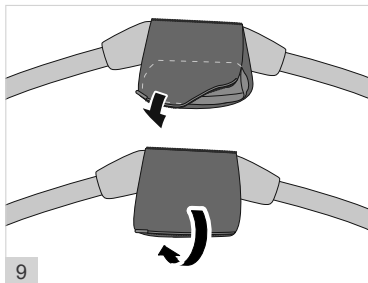


⑥ショルダーストラップをまとめた部分から、上図のように本体をくるくるとまとめていきます。

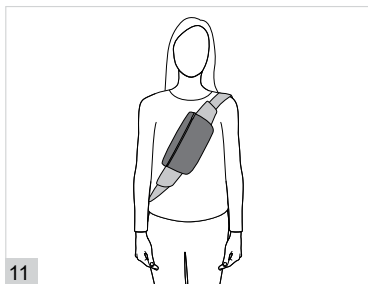
⑦ウエストベルトの位置までまとめます。



- ⑧ 収納バック部分で、まとめた本体を包みます。
⑨ 収納バックのポケットに本体を収納します。



- ⑩ 収納バックのファスナーを閉じます。
⑪ ウエストベルトを使って、ボディバックのように肩にかけて持ち運べます。



点検について

警告

使用前の注意事項

- ご使用前に、バックルや、ショルダーストラップ、ウェストベルトなど、各パーツの動作、状態に異常がないことを確認してください。

使用中の注意事項

- ご使用中に異常を感じたときや、日常点検で異常を発見した場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店までご相談ください。

日々の点検

本製品をお使いになる前には、以下の点検を必ず行ってください。

- 各バックル、スライダーに破損はないか。
- 各バックルが確実に留められるか。
- 各ベルトと生地にほつれや破れ、きずがないか。
- 各バックルやベルトが使用中に自然にゆるまないか。

お手入れ方法

警告

メンテナンス・保管時の注意事項

- ご自身での改造や修理は決して行わないでください。修理に関するお問い合わせは、CTP JAPAN株式会社カスタマーセンターまでご連絡ください。
ご自身での改造や修理は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーキャリアの警告ラベルを切り取ったり、変更しないでください。
- お客様で定期的にメンテナンスを行ってください。

注意

その他の注意事項

- ベビーキャリアを洗うときは、他の洗濯物と一緒に洗わないでください。
他の洗濯物に色が移るおそれがあります。
- 直射日光に当てて、干さないでください。
- タンブラー乾燥機、アイロン、ドライクリーニング、洗濯機の使用はしないでください。詳細については製品にある洗濯ラベルを確認してください。
- 蛍光増白剤入りの洗剤を使用しないでください。

本体にある洗濯表示タグにしたがって、洗濯をしてください。

- 単独洗い ● 手洗い ● 蛍光増白剤使用禁止
- 漂白剤使用禁止 ● タンブル乾燥禁止
- アイロン禁止 ● ドライクリーニング禁止
- 洗濯機の使用不可



保管する / 廃棄する

警告

メンテナンス・保管時の注意事項

- 直射日光やストーブの温風などに長時間さらさないでください。また、高温の車内などで長時間保管しないでください。
パーツなどが変形するなどし、本来の製品性能が失われるおそれがあります。

注意

メンテナンス・保管時の注意事項

- 使用しない際も、バックルをつけた状態で保管ください。
- ベビーキャリアを、濡れた状態でたたんだり、保管しないでください。
色移りや、カビなどが発生すると、お子さまの健康に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 本製品をお子さまの手の届く場所に放置・保管しないでください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 湿気が多い場所で保管しないでください。

その他の注意事項

- ベビーキャリアを洗うときは、他の洗濯物と一緒に洗わないでください。
他の洗濯物に色に移るおそれがあります。
- 直射日光に当てて、干さないでください。
- タンブラー乾燥機、アイロン、ドライクリーニング、洗濯機の使用はしないでください。詳細については製品にある洗濯ラベルを確認してください。

お問い合わせ

本製品の使用方法や修理、パーツ販売について質問がある場合は、取扱店舗または弊社カスタマーセンター (info@cybex-japan.com) へ、次の情報をお手元にご用意いただきお問い合わせください。

※ 製品に関するその他のご質問については、弊社 HP でもご確認できます。 www.cybex-online.com

- シリアル番号
- 製品名
- お買い上げ年月日
- お子さまの月齢、体重など

カスタマーサポート

お困りのことがございましたら、
メール又はチャットにて
サポートいたします。

<チャット QR コード>



保証規定

下記の条件を満たした場合、当製品は製造上の又は部品上の瑕疵について、正規販売店からのご購入日より2年間保証されます。

製品は製造者の判断で、「無償修理」又は「代替品の無償供給」がなされます。

1. 日本国内で、正規販売店よりご購入された最初のご所有者である場合。
2. 「ご購入製品」、「正規販売店名」と「ご購入日」が明確にわかるレシート等ご購入の証明をお持ちであるか、当取扱説明書の保証書の欄に、「正規販売店スタンプ」と「ご購入日」が明示されている場合。
3. 製品が販売店または正規輸入代理店の指示に従って、所有者の送料負担により持ち込まれた場合。
4. 製品受領後、瑕疵を発見して直ちに上記3.の対応が取られた場合。
5. 使用者が、当取扱説明書に沿って製品を使用された場合。
6. 次の除外事項に抵触しない場合。
 - a. 当取扱説明書に沿わないご使用。
 - b. 製品を落下させる等、使用者の過失による破損。

- c. 交通事故を含む事故、火災、水害、地震等の災害による破損。
- d. 製品の自然摩耗、バックルの塗装剥がれ、汚れ、退色、ファブリックの破れ・裂け等
- e. 製造者以外の手による改造がなされている場合
- f. 本製品に取りつけたサイベックス社純正以外のアクセサリーに起因する故障や破損

注意

- 1) 当保証は日本国内でのみ有効です。
- 2) 製品が著しく汚損している場合、メンテナンス等をお断りする場合がございます。
- 3) 製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理ができない場合がございます。また保証期間内においても交換する部品または製品の色、柄、仕様などについてはご希望に添えない場合があります。

ユーザー登録のお願い

お買い上げいただきましたお客様に、万が一、製品に問題が生じたときに、必要な改善措置を速やかに実施するための製品情報などをご連絡させていただくため、ユーザー登録をお願いしております。以下QRコードからユーザー登録サイト“MY CYBEX”にアクセスの上必要事項をご入力ください。(シリアル番号は本取扱説明書の裏面に添付されています。)



保証書

製品名	CYBEX COÿA CARRIER				
★ご購入日	年	月	日	保証期間	ご購入日より2年間
お客様情報				★販売店スタンプ	
お名前				店名・住所・電話番号	
ご住所 〒					
電話番号					

SGマーク制度について



SGマークが貼付された製品がかかわる事故で、それが製品の欠陥によるものと判断された場合に製品安全協会が、治療費等（人的損害）を賠償する制度です。申請の受付、原因調査、欠陥が認められた場合の賠償措置を製品安全協会が客観的、公平かつ速やかに行います。

※抱っこひもの場合、ご購入後 3 年以内の製品が対象となります。

賠償要件

- ① SGマーク付き製品によって人的損害が生じたと認められること
- ② 製品に欠陥が認められること
- ③ 事故と製品の欠陥に因果関係が認められること

賠償についてのご注意

- ① 本製品の SG マーク制度の適用対象月齢は以下の通りです。
 - ・ 対面抱き 生後 1 ヶ月から 24 ヶ月 (13kg) まで
 - ・ 前向き抱き 生後 6 ヶ月から 24 ヶ月 (13kg) まで
 - ・ おんぶ 生後 6 ヶ月から 36 ヶ月 (15kg) まで
- ② 日本国内で発生した事故に限ります。また、物的な損害は賠償の対象となりません。
- ③ 取扱説明書を読まなかった、誤った使い方をした、適切な維持・管理をしなかった、など、使う側に過失が認められる場合は、賠償ができない、或いは、減額されることがあります。
- ④ 事故品その他証拠品等は、製品安全協会から連絡するまでそのままの状態でご保存願います。保存状況が悪いと十分な事故原因究明ができず賠償できないことがあります。

賠償手続きの流れ

- ①製品の欠陥による事故が起きた場合、直ぐに製品安全協会へ連絡します。
- ②製品安全協会の担当者が、事故の状況・被害の程度、事故品の状況等について詳しくヒアリングします。
- ③事故発生届、事故品等を製品安全協会へ提出します。（原則、事故発生から60日以内）
- ④調査や試験結果等に基づき、製品安全協会が事故の原因を究明します。
- ⑤賠償と判断された場合、製品安全協会へ関連書類を提出します。

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階 TEL 03-5808-3300

事故の届出に必要な項目

- ①事故の原因となった製品項目
 - ・製品名称、ロット No.
 - ・購入先、購入年月日
- ②事故発生の状況
 - ・事故発生年月日
 - ・事故発生場所
 - ・事故発生状況
- ③被害の状況
 - ・被害者の氏名、年齢、性別、住所
 - ・被害の状況

カスタマーサポート

お困りのことがございましたら、
メール又はチャットにて
サポートいたします。

<チャット QR コード>



ユーザー登録サイト

「MY CYBEX」へのアクセスは
こちらから

<ユーザー登録サイト>



輸入元／日本国内総代理店

CTP JAPAN株式会社

〒150-8512

東京都渋谷区桜丘町26-1セルリアンタワー15階

info@cybex-japan.com